

第 50 回市政アンケート調査結果報告書

四日市市
令和4年 12 月

－ 目次 －

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査の内容	1
	（1）市政全般の満足度・期待する取り組みについて【問1：40項目】	1
	（2）日ごろの生活と市政について【問2～問9】	1
4	回収結果	1
5	報告書の見方	2
II	回答者の属性	3
III	調査結果の分析	5
1	市政全般の満足度・期待する取り組みについて	5
	（1）満足度と期待について	5
	（2）満足度と期待の傾向	10
	（3）満足度と期待の経年変化	12
	（4）市民から特に求められている施策	17
	（5）その他	22
2	日ごろの生活と市政について	23
	（1）市民の意見反映について	23
	（2）市職員に対する信頼度について	25
	（3）四日市市居住に対する総合的な満足度について	27
	（4）市の広報活動について	29
	（5）市議会について	35
3	自由意見	39

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、行政上の課題や市民生活上の問題点などについて、広く市民の意見を伺い、その結果を市政に反映させることを目的とします。

2 調査の設計

	調 査 概 要
(1) 調査対象	四日市市に居住する 18 歳以上の市民
(2) 標本数	5,000 人
(3) 抽出方法	住民基本台帳より 18 歳以上の方から無作為抽出
(4) 実施方法	配布：郵便による調査票配布 調査票配布後、8 月 5 日に協力依頼状を送付 回収：郵送、Web 回答
(5) 調査期間	令和 4 年 7 月 20 日～8 月 19 日

3 調査の内容

(1) 市政全般の満足度・期待する取り組みについて【問 1：40 項目】

(2) 日ごろの生活と市政について【問 2～問 9】

- ① 市民の意見反映について【問 2】
- ② 市職員に対する信頼度について【問 3】
- ③ 四日市市居住に対する総合的な満足度について【問 4】
- ④ 市の広報活動について【問 5、問 6】
- ⑤ 市議会について【問 7、問 7-1、問 8】
- ⑥ 市政に対するご意見やご要望【問 9】

(注) 調査票は資料編に掲載しています。

4 回収結果

配布数	有効回答数		無効回答数	
	郵送	Web		
5,000 (100.0%)	1,946 (38.9%)	1,497 (29.9%)	449 (9.0%)	1 (0.0%)

5 報告書の見方

- (1) n = は標本数を表しています。
- (2) 図表及び本文中の数値 (%) は、原則として小数点第 2 位以下を四捨五入してあるため、合計しても 100%にならない場合があります。また、複数回答の場合は各回答率を合計すると、100%を超える場合があります。
- (3) 本報告書中の表、グラフなどの見出しおよび文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
- (4) グラフ中で回答のない 0.0% の場合、表示を省略している場合があります。
- (5) 本報告書中の第 41 回～第 49 回調査は、平成 25 年度から令和 3 年度で実施した調査です。

■ 参 考 <アンケート調査結果と母集団との関係について>

【標本誤差について】

5,000 人（母集団）を対象に無作為抽出し、有効回収結果（標本数）として、1,946 人から回答をいただきました。そこで、得られた標本が母集団をどのくらい隔たりがあるかを示す指標として、標本誤差が考えられます。標本誤差は、次式で表されます。ただし、信頼度を 95% とし、信頼水準（係数）を 1.96 と設定します。ここで、信頼度 95% とは、その標本が 100 回に 5 回がその標本誤差の範囲内におさまらないという意味です。通常のアンケート調査では信頼度 95% として調査設計されることが多くなっています。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\left(\frac{P(1-P)}{n}\right) \times \left(\frac{N-n}{N-1}\right)}$$

P : 回答率（該当回答数 / 総回答数） n : 回答者（人） N : 人口（人）

本調査の標本誤差の早見表は、下記のとおりです。

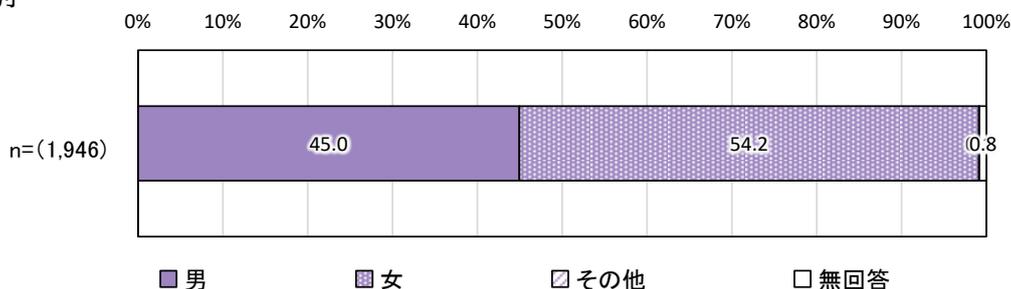
例えば、本報告書結果において、回答選択肢に対する回答比率が 90% である設問の場合、下表より、これに対応する標本誤差は ±1.3% であるので、母集団（住民基本台帳で令和 4 年度 7 月 1 日における 18 歳以上の四日市市民全体）の回答比率は 88.7% (=90% - 1.3%) ~ 91.3% (=90% + 1.3%) であると推定されます。

【標本誤差の早見表】

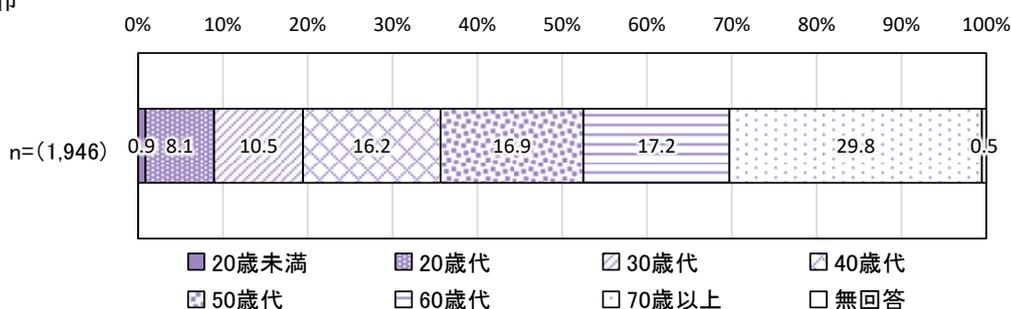
回答比率	5%または 95%	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
標本誤差	±1.0%	±1.3%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.2%

II 回答者の属性

1 性別



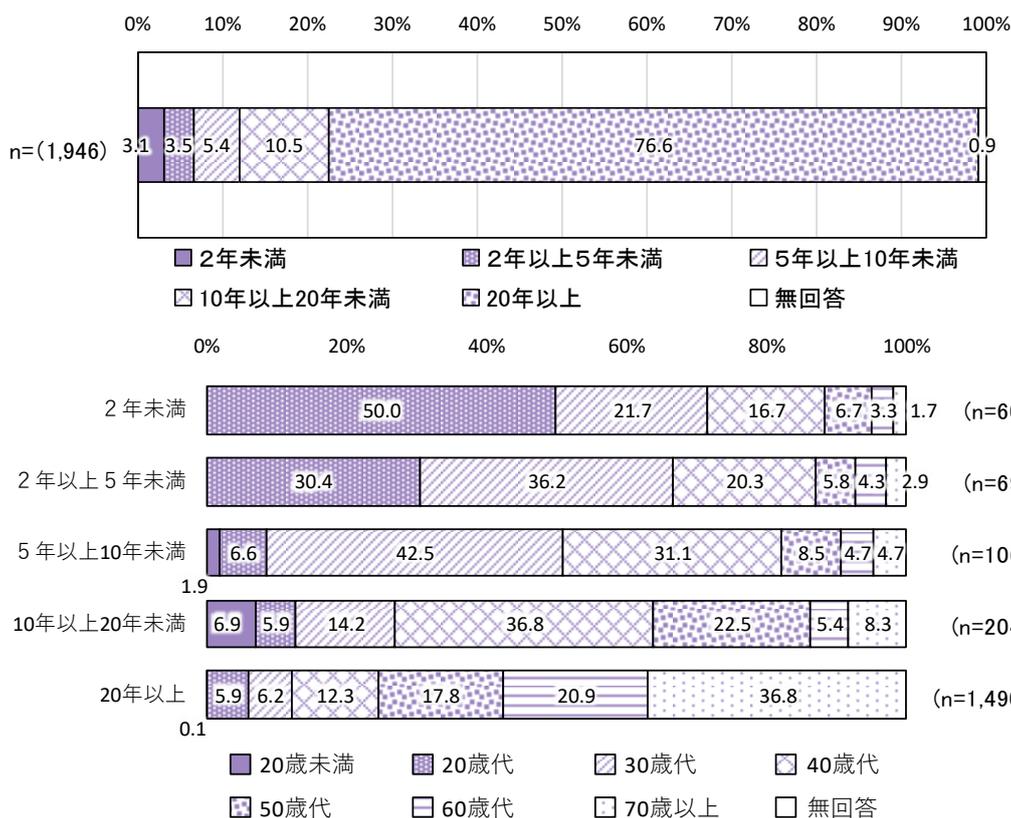
2 年齢



3 居住年数

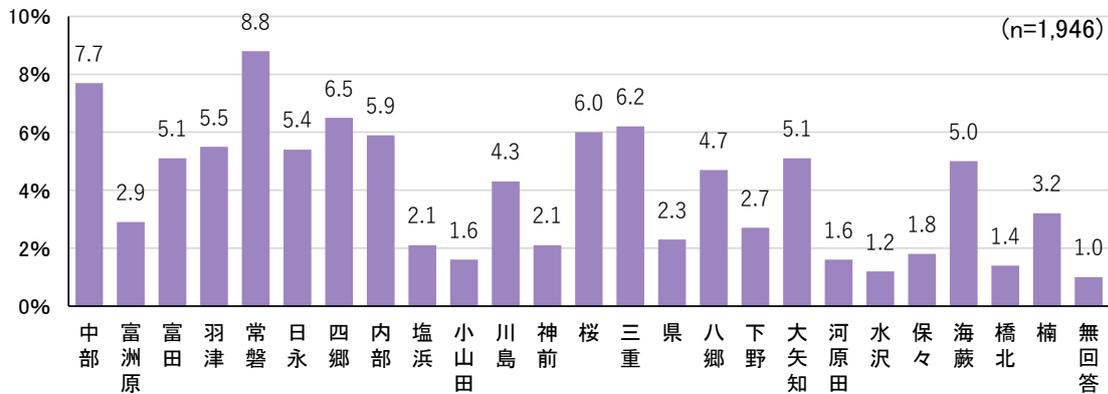
居住年数が20年以上と回答した人が全体の3/4以上を占めています。

ただし、居住年数が「2年未満」「2年以上5年未満」「5年以上10年未満」は30歳代以下の人が半数を超えており、居住年数が短い人ほど若い年齢層の占める割合が高いことがわかります。



4 地区

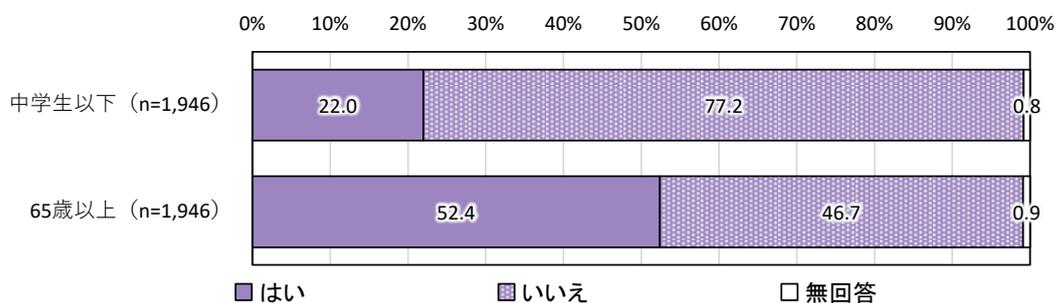
居住人口の割合にほぼ比例して「常磐地区」8.8%、「中部地区」7.7%、「四郷地区」6.5%の順に回答者が多い地区となっています。反対に、「水沢地区」1.2%、「橋北地区」1.4%、「小山田地区」「河原田地区」がともに1.6%で回答者が少ない地区となっています。



5 家族構成

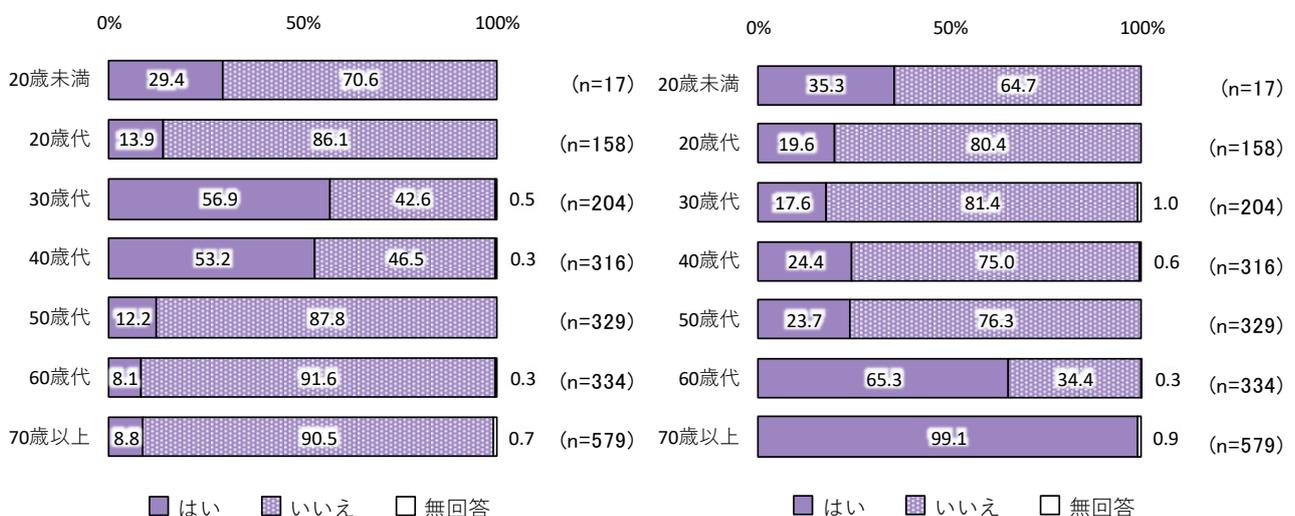
中学生以下の家族がいる回答者は2割、反対に65歳以上の家族がいる回答者は半数以上となっています。

30歳代および40歳代の回答者は半数以上の家庭で中学生以下の家族がいます。一方で、65歳以上の家族がいる人の割合は、30歳代以下では2割未満となっています。



【中学生以下の家族の有無】

【65歳以上の家族の有無】



Ⅲ 調査結果の分析

1 市政全般の満足度・期待する取り組みについて

問1. あなたは、四日市市が行っているさまざまな取り組みについて、満足していますか。それぞれの取り組みについて、「これまでの取り組みに対する満足度」の欄から1つ選んで番号に○をつけてください。
また、四日市市が行っているさまざまな取り組みのうち、今後あなたが「特に期待する取り組み」について、当てはまるものをすべて選んで○をつけてください。

ここでは、四日市市が行っている施策や事業（40項目）について、各項目の「満足度」をそれぞれ5段階で評価していただくとともに、今後、特に期待する取り組みについて、選んでいただきました。

（1）満足度と期待について

本調査では、市の実施する施策に対する満足度および特に期待する取り組みについて回答いただきました。

評価していただく項目については40項目とし、具体的な実施事業例の記載とともに、最近の市の主要な施策を別紙で紹介し、現在行っている施策・事業の内容をわかりやすく情報提供することを心がけています。

◆満足度の示し方

項目ごとの満足度については、満足度のそれぞれの選択肢に、下記に示すような点数をつけ、得点合計を回答数で割って、算出しました。なお、回答数は各項目の全回答数より無回答数、「わからない」と回答された数を差し引いた値です。

$$\text{満足度} = \frac{\text{「非常に満足」} \times 5 + \text{「満足」} \times 4 + \text{「ふつう」} \times 3 + \text{「不満」} \times 2 + \text{「非常に不満」} \times 1}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数} - \text{「わからない」}}$$

◆期待の示し方

各施策項目において、「今後あなたが『特に期待する取り組み』に○をつけてください（いくつでも）」と表記した記載欄に○を付けていただいた人の割合（％）を算出しました。

$$\text{期待} = \frac{\text{○が付いた数}}{\text{全回答数}(n)}$$

◆満足度および期待の算定結果

満足度評価得点および期待の算定結果について、次ページに示します。

【整理にあたっての留意点】

- 本調査結果と過年度調査結果（第41回～第49回）を比較する場合、設問の仕方ならびに設問項目数などが異なっており、留意する必要があります。
- ① 設問の仕方の違い
設問項目に関する表記については、回答者に施策・事業内容を理解していただくために、各年度で若干異なっています。
- ② 項目数の違い
第41回（40）、第42回（41）、第43回（40）、第44回（40）、第45回（40）、第46回（40）、第47回（40）第48回（40）、第49回（40）、第50回（40）
（ ）内の数値は項目数（設問数）を示す。
（注） 設問項目も異なっている場合があります。

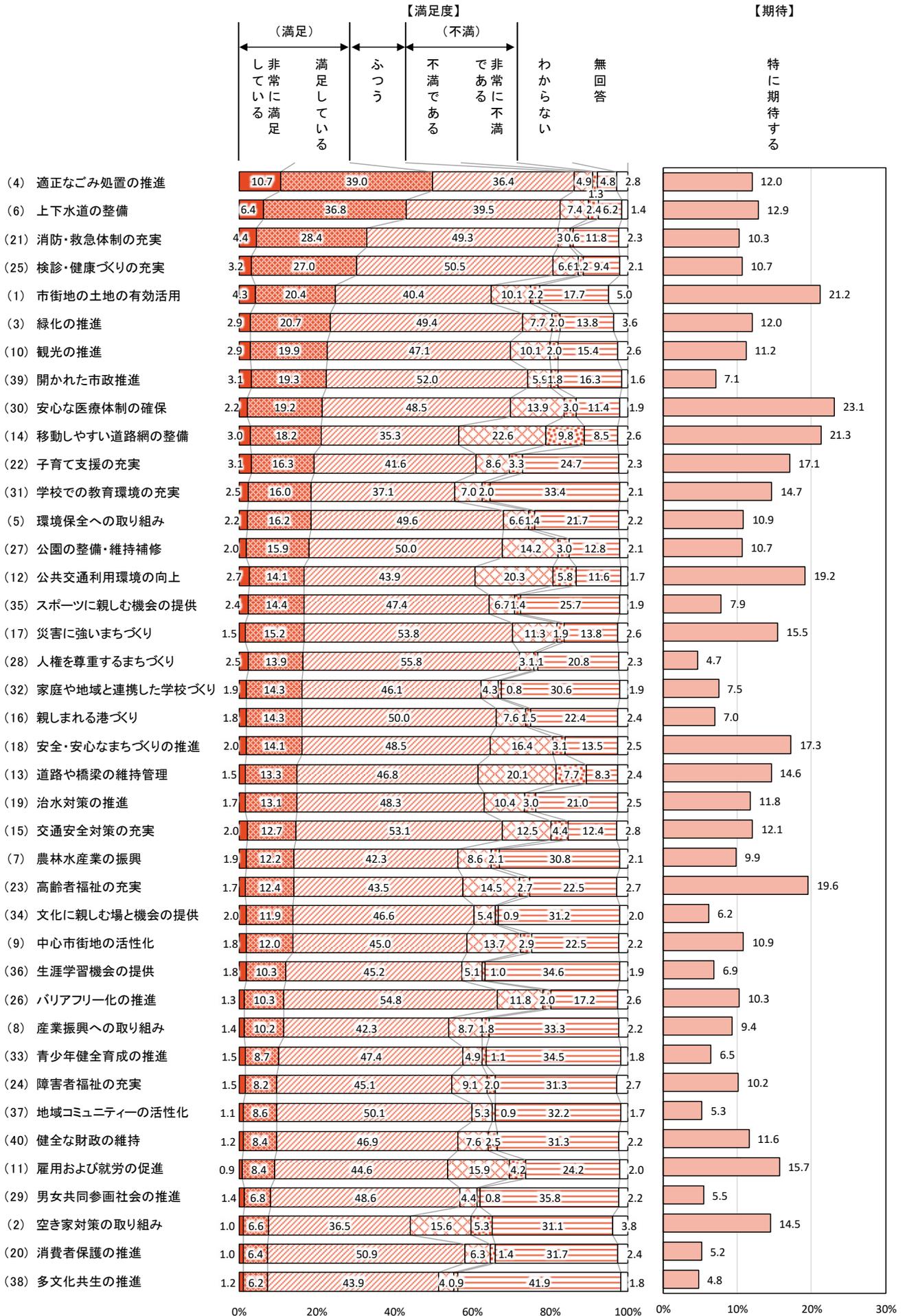
－ 満足度評価得点と期待（40項目）－

施策項目		満足度（5段階）			期待				
		評価得点	順位 (高い順)		“○”が付いた割合		順位 (高い順)		
	1 市街地の土地の有効活用	3.19	(3.05)	5位	(17位)	21.2%	(14.5%)	3位	(7位)
★	2 空き家対策の取り組み	2.73	(2.68)	40位	(40位)	14.5%	(13.9%)	12位	(8位)
	3 緑化の推進	3.18	(3.12)	7位	(10位)	12.0%	(9.7%)	15位	(18位)
	4 適正なごみ処置の推進	3.57	(3.60)	1位	(1位)	12.0%	(9.3%)	15位	(20位)
	5 環境保全への取り組み	3.15	(3.07)	11位	(15位)	10.9%	(9.1%)	20位	(21位)
	6 上下水道の整備	3.40	(3.38)	2位	(3位)	12.9%	(10.1%)	13位	(16位)
	7 農林水産業の振興	3.05	(3.04)	21位	(18位)	9.9%	(8.1%)	27位	(27位)
	8 産業振興への取り組み	3.01	(2.96)	25位	(28位)	9.4%	(6.4%)	28位	(30位)
	9 中心市街地の活性化	2.95	(2.89)	32位	(34位)	10.9%	(9.0%)	20位	(22位)
	10 観光の推進	3.14	(3.10)	12位	(12位)	11.2%	(8.4%)	19位	(26位)
★	11 雇用および就労の促進	2.81	(2.83)	37位	(37位)	15.7%	(13.7%)	8位	(11位)
★	12 公共交通利用環境の向上	2.86	(2.83)	36位	(36位)	19.2%	(16.0%)	5位	(5位)
★	13 道路や橋梁の維持管理	2.79	(2.76)	39位	(39位)	14.6%	(13.8%)	11位	(10位)
★	14 移動しやすい道路網の整備	2.80	(2.77)	38位	(38位)	21.3%	(17.6%)	2位	(3位)
★	15 交通安全対策の充実	2.94	(2.84)	34位	(35位)	12.1%	(11.7%)	14位	(13位)
	16 親しまれる港づくり	3.10	(3.06)	16位	(16位)	7.0%	(5.1%)	32位	(35位)
★	17 災害に強いまちづくり	3.04	(3.02)	23位	(21位)	15.5%	(13.9%)	9位	(8位)
★	18 安全・安心なまちづくりの推進	2.95	(2.91)	32位	(33位)	17.3%	(16.1%)	6位	(4位)
★	19 治水対策の推進	3.00	(2.98)	26位	(25位)	11.8%	(9.5%)	17位	(19位)
	20 消費者保護の推進	2.99	(2.97)	28位	(26位)	5.2%	(3.7%)	38位	(40位)
	21 消防・救急体制の充実	3.38	(3.39)	3位	(2位)	10.3%	(8.7%)	24位	(24位)
	22 子育て支援の充実	3.10	(3.22)	16位	(5位)	17.1%	(15.3%)	7位	(6位)
★	23 高齢者福祉の充実	2.94	(2.92)	34位	(32位)	19.6%	(19.2%)	4位	(2位)
	24 障害者福祉の充実	2.97	(2.94)	30位	(29位)	10.2%	(10.0%)	26位	(17位)
	25 検診・健康づくりの充実	3.28	(3.26)	4位	(4位)	10.7%	(10.9%)	22位	(14位)
	26 バリアフリー化の推進	2.96	(2.94)	31位	(30位)	10.3%	(9.0%)	24位	(22位)
	27 公園の整備・維持補修	3.00	(2.97)	26位	(27位)	10.7%	(10.4%)	22位	(15位)
	28 人権を尊重するまちづくり	3.17	(3.12)	9位	(9位)	4.7%	(4.6%)	40位	(37位)
	29 男女共同参画社会の推進	3.06	(3.04)	19位	(19位)	5.5%	(5.0%)	36位	(36位)
★	30 安心な医療体制の確保	3.04	(3.01)	23位	(24位)	23.1%	(21.5%)	1位	(1位)
	31 学校での教育環境の充実	3.16	(3.14)	10位	(7位)	14.7%	(12.5%)	10位	(12位)
	32 家庭や地域と連携した学校づくり	3.18	(3.14)	7位	(8位)	7.5%	(6.1%)	30位	(31位)
	33 青少年健全育成の推進	3.07	(3.04)	18位	(20位)	6.5%	(5.2%)	34位	(34位)
	34 文化に親しむ場と機会の提供	3.13	(3.09)	13位	(14位)	6.2%	(5.8%)	35位	(32位)
	35 スポーツに親しむ機会の提供	3.13	(3.16)	13位	(6位)	7.9%	(6.6%)	29位	(28位)
	36 生涯学習機会の提供	3.11	(3.10)	15位	(13位)	6.9%	(5.3%)	33位	(33位)
	37 地域コミュニティの活性化	3.06	(3.02)	19位	(23位)	5.3%	(4.4%)	37位	(38位)
	38 多文化共生の推進	3.05	(3.02)	21位	(22位)	4.8%	(4.0%)	39位	(39位)
	39 開かれた市政推進	3.19	(3.12)	5位	(11位)	7.1%	(6.6%)	31位	(28位)
★	40 健全な財政の維持	2.98	(2.93)	29位	(31位)	11.6%	(8.7%)	18位	(24位)
平均		3.07	(3.04)	—		11.6%	(10.0%)	—	

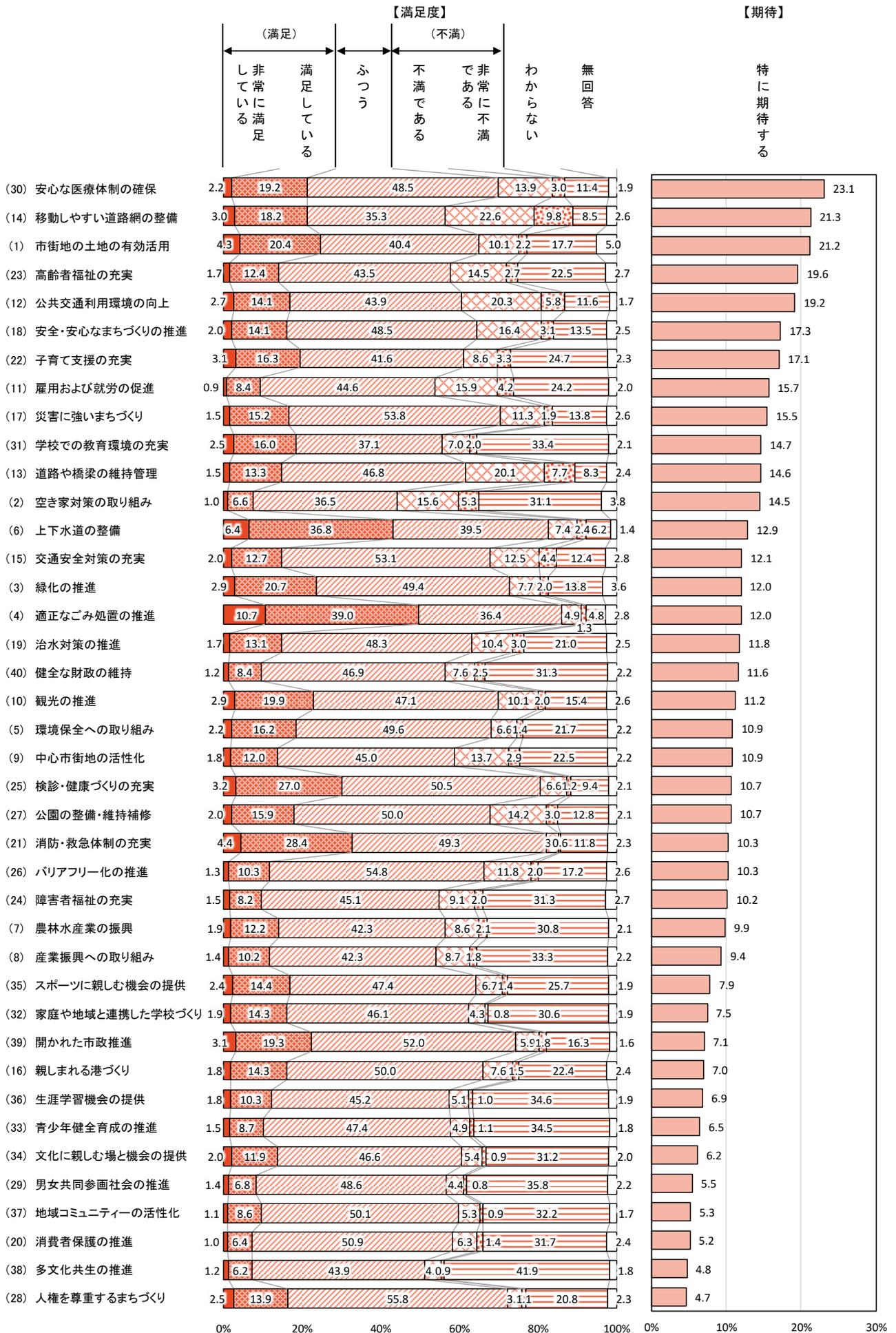
※ 「★」は満足度が平均値未満かつ期待が平均値以上の項目

※ ()内は令和3年度の結果

— 満足度割合と期待（満足項目順） —



— 満足度割合と期待（期待項目順） —



(2) 満足度と期待の傾向

満足度は、全 40 項目の平均得点が 3.07 となり、前回調査 (3.04) と比較すると 0.03 ポイント上昇し、5 段階評価の平均である『3』も上回っています。個別にみて満足度が上昇した項目は 35 項目と、前回調査時の 8 項目より大幅に増加しています。上昇幅が最も大きかった項目は「市街地の土地の有効活用 (+0.14)」となり、次いで「交通安全対策の充実 (+0.10)」、「環境保全への取り組み (+0.08)」となっています。最も満足度が高い項目は、前回調査に引き続き「適正なごみ処置の推進」となり、今回最も満足度が低い項目は「空き家対策の取り組み」となりました。

一方、期待については、全項目の平均得点が 11.6% となり、前回調査 (10.0%) と比較して上昇しました。また、個別でみると期待が上昇した項目は 39 項目と前回調査時の 28 項目より増加しています。上昇幅が最も大きかった項目は「市街地の土地の有効活用 (+6.7%)」となり、次いで「移動しやすい道路網の整備 (+3.7%)」、「公共交通利用環境の向上 (+3.2%)」となっています。また最も期待が大きい項目は、「安心な医療体制の確保」となっています。

【満足度上位項目】

1位	(←)	(前回 1位)	適正なごみ処置の推進	3.57	(↓)	(前回 3.60)
2位	(↑)	(前回 3位)	上下水道の整備	3.40	(↑)	(前回 3.38)
3位	(↓)	(前回 2位)	消防・救急体制の充実	3.38	(↓)	(前回 3.39)
4位	(←)	(前回 4位)	検診・健康づくりの充実	3.28	(↑)	(前回 3.26)
5位	(↑)	(前回 11位)	開かれた市政推進	3.19	(↑)	(前回 3.12)
	(↑)	(前回 17位)	市街地の土地の有効活用	3.19	(↑)	(前回 3.05)

【満足度下位項目】

40位	(←)	(前回 40位)	空き家対策の取り組み	2.73	(↑)	(前回 2.68)
39位	(←)	(前回 39位)	道路や橋梁の維持管理	2.79	(↑)	(前回 2.76)
38位	(←)	(前回 38位)	移動しやすい道路網の整備	2.80	(↑)	(前回 2.77)
37位	(←)	(前回 37位)	雇用および就労の促進	2.81	(↓)	(前回 2.83)
36位	(←)	(前回 36位)	公共交通利用環境の向上	2.86	(↑)	(前回 2.83)

【期待上位項目】

1位	(←)	(前回 1位)	安心な医療体制の確保	23.1%	(↑)	(前回 21.5%)
2位	(↑)	(前回 3位)	移動しやすい道路網の整備	21.3%	(↑)	(前回 17.6%)
3位	(↑)	(前回 7位)	市街地の土地の有効活用	21.2%	(↑)	(前回 14.5%)
4位	(↓)	(前回 2位)	高齢者福祉の充実	19.6%	(↑)	(前回 19.2%)
5位	(←)	(前回 5位)	公共交通利用環境の向上	19.2%	(↑)	(前回 16.0%)

【属性別傾向特記事項】

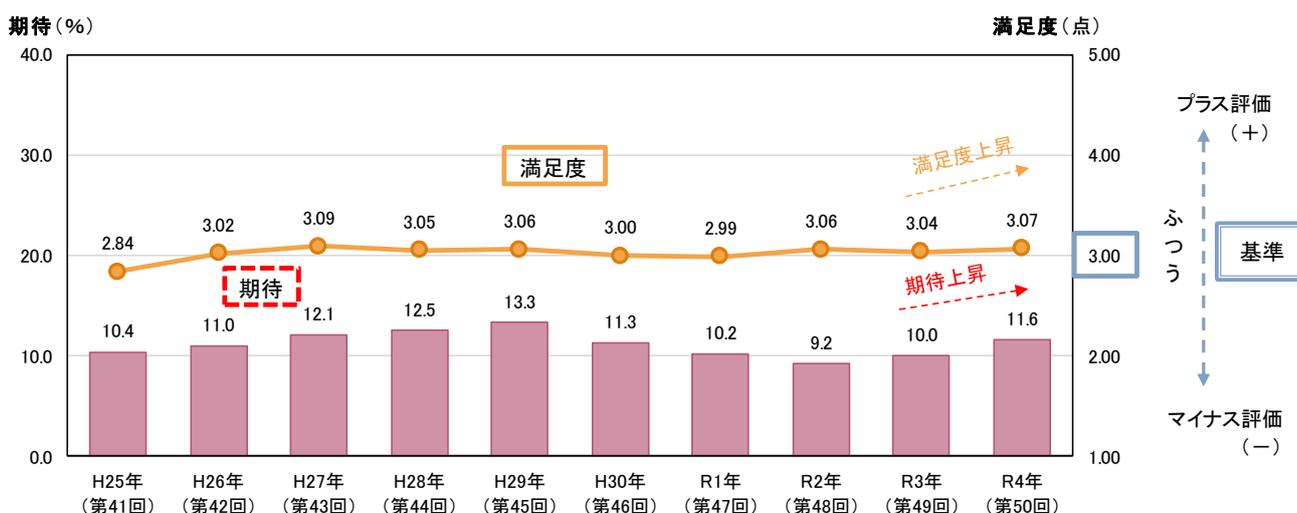
回答者の属性別（性別・年齢・家族構成・居住年数・地区）に見た傾向の中で、特筆すべき事項を以下に示します。なお、一部の属性については、母数が少ないことに留意する必要があります。

性別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に女性の方が男性より満足度が高い（40項目平均、男性 3.02、女性 3.10）女性の方が高い項目は 33 項目。 ○ 性別で最も差が大きい項目は「移動しやすい道路網の整備」（男性 2.68、女性 2.89）で、次いで「検診・健康づくりの充実」（男性 3.18、女性 3.35）となっています。 ○ 男性の満足度が高く最も男女差の大きい項目は「上下水道の整備」（男性 3.42、女性 3.39）、女性の満足度が高く最も男女差の大きい項目は「移動しやすい道路網の整備」（男性 2.68、女性 2.89）となっています。 <p>※性別「その他」は母数が少ないため比較から除いています。</p>
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 30 歳代（3.05）、40 歳代（3.06）、50 歳代（3.03）、60 歳代（2.99）は全体（3.07）よりも平均が低くなっています。 ○ 満足度の年齢別で差が大きい項目は、「空き家対策の取り組み」（最大 20 歳未満 3.36、最小 60 歳代 2.64）、「中心市街地の活性化」（最大 20 歳未満 3.50、最小 60 歳代 2.80）、「農林水産業の振興」（最大 20 歳未満 3.50、最小 60 歳代 2.89）となっている。 ○ 満足度の年齢別で差が小さい項目は、「消費者保護の推進」（差 0.14）、「災害に強いまちづくり」（差 0.15）、「適正なごみ処置の推進」（差 0.16）となっています。
居住年数別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 満足度の居住年数別で差が大きい項目は、「環境保全への取り組み」（最大 2 年未満 3.54、最小 5 年以上 10 年未満 2.95）、「農林水産業の振興」（最大 2 年未満 3.54、最小 20 年以上 3.00）、「市街地の土地の有効活用」（最大 2 年未満 3.61、最小 10 年以上 20 年未満 3.11）、「雇用および就労の促進」（最大 2 年未満 3.26、最小 20 年以上 2.77）となっています。 ○ 満足度の居住年数別で差が小さい項目は、「バリアフリー化の推進」（差 0.11）、「男女共同参画社会の推進」（差 0.13）、「学校での教育環境の充実」（差 0.15）となっています。
家族構成別 （中学生以下の 子どもの有無）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て世帯で満足度の低い項目は、「空き家対策の取り組み」（子ども同居あり 2.73、子ども同居なし 2.72）、「道路や橋梁の維持管理」（子ども同居あり 2.76、子ども同居なし 2.79）となっています。 ○ 子育て世帯で満足度の高い項目は、「適正なごみ処置の推進」（子ども同居あり 3.56、子ども同居なし 3.57）、「上下水道の整備」（子ども同居あり 3.31、子ども同居なし 3.43）、「消防・救急体制の充実」（子ども同居あり 3.34、子ども同居なし 3.39）となっています。
地区別	<ul style="list-style-type: none"> ○ 満足度の地区別で差が大きい項目は、「上下水道の整備」（最大川島 3.70、最小県 2.77）、「学校での教育環境の充実」（最大保々 3.63、最小塩浜 2.96）、「家庭や地域と連携した学校づくり」（最大保々 3.58、最小日永 2.97）となっています。 ○ 満足度の地区別で差が小さい項目は、「検診・健康づくりの充実」（差 0.26）、「開かれた市政推進」（差 0.26）、「消防・救急体制の充実」（差 0.30）となっています。

(3) 満足度と期待の経年変化

満足度（評価得点）と期待の経年変化を、過年度調査結果（第41回～第49回）を踏まえて整理します。満足度の平均値は、第49回調査では上昇傾向から下降に転じたものの、本調査では3.07と僅かながら上昇しました。期待の平均値は、第48回調査から続き、本調査でも11.7%と上昇しました。

個別でみると、「市街地の土地の有効活用」(+0.14)や「交通安全対策の充実」(+0.10)で満足度の上昇幅が大きく、反対に満足度が下がった項目は「子育て支援の充実」(-0.12)となっています。一方、期待では「市街地の土地の有効活用」(+6.7%)で上昇幅が最も大きくなっています。



－ 満足度の増減幅が大きい施策項目（上位5位） －

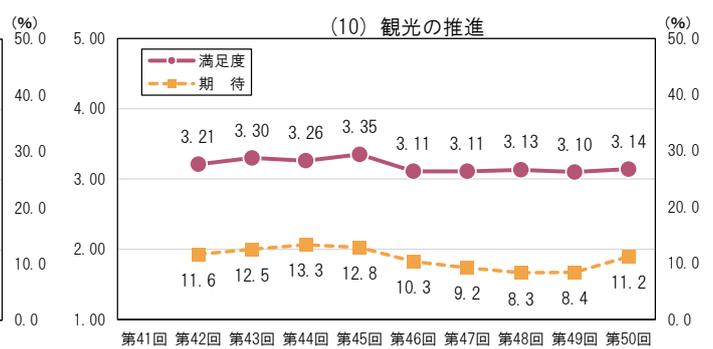
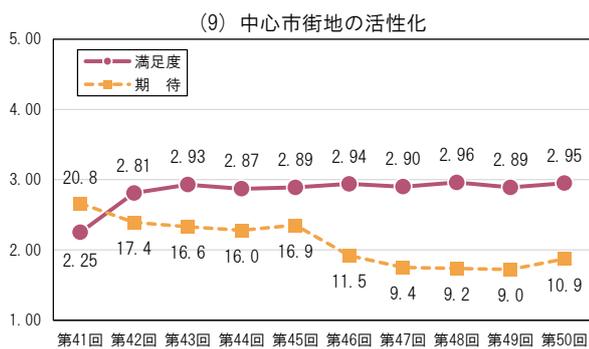
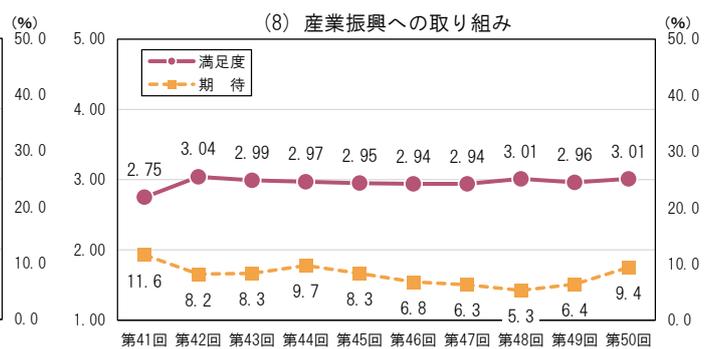
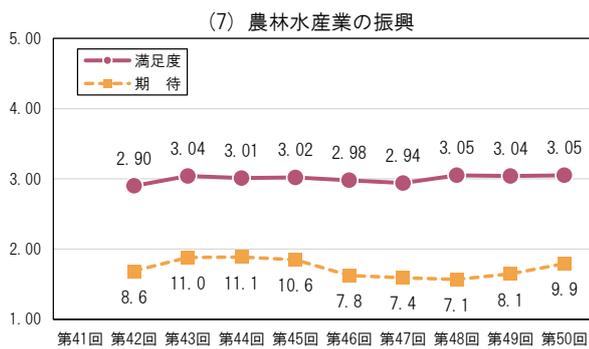
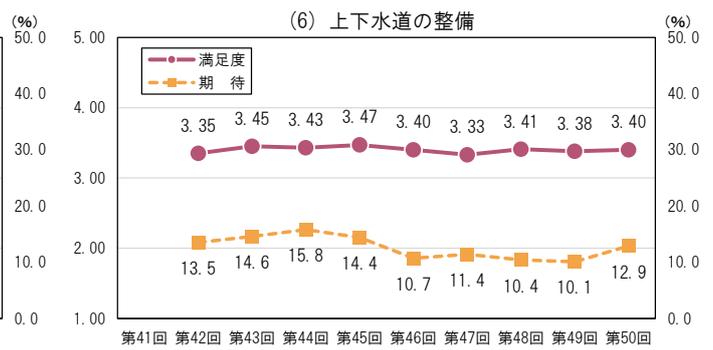
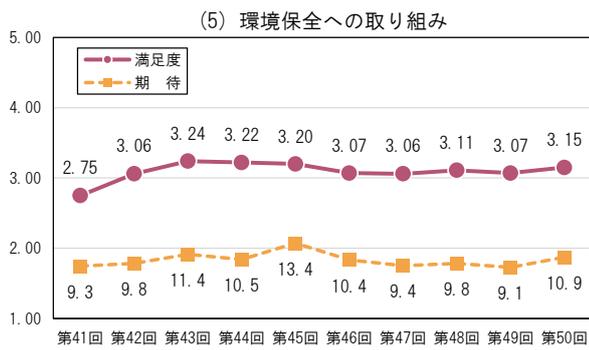
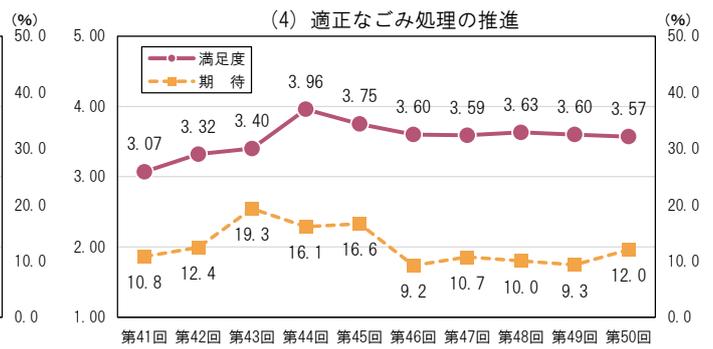
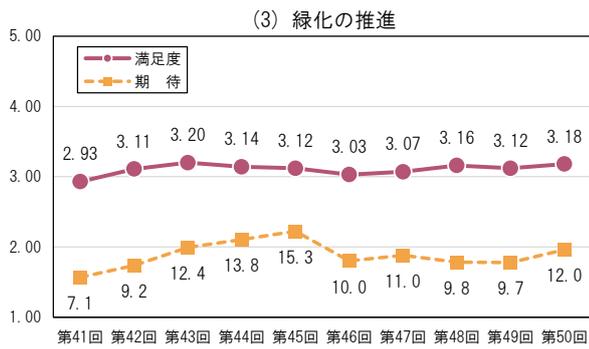
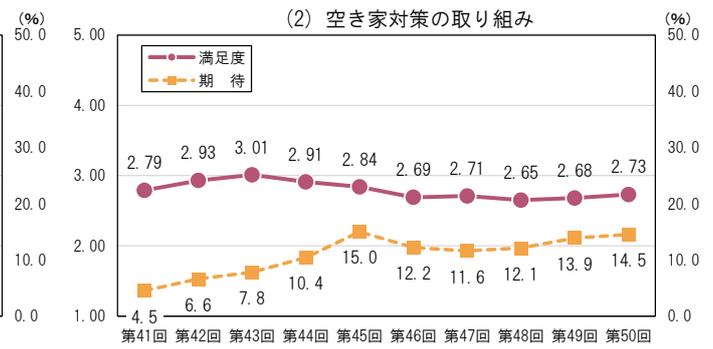
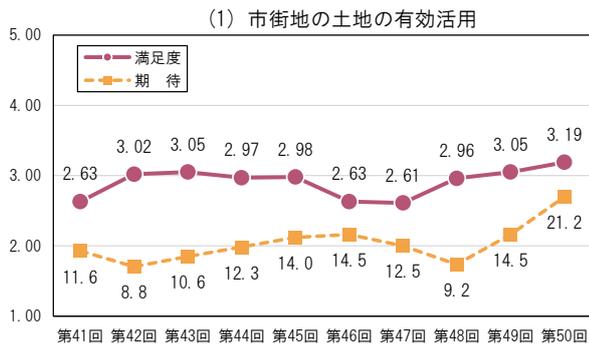
順位	項目	今回 (令和4年度)	前回 (令和3年度)	増減幅
1位	(1) 市街地の土地の有効活用	3.19	3.05	+0.14
2位	(22) 子育て支援の充実	3.10	3.22	-0.12
3位	(15) 交通安全対策の充実	2.94	2.84	+0.10
4位	(5) 環境保全への取り組み	3.15	3.07	+0.08
5位	(39) 開かれた市政推進	3.19	3.12	+0.07

－ 期待の増減幅が大きい施策項目（上位5位） －

順位	項目	今回 (令和4年度)	前回 (令和3年度)	増減幅
1位	(1) 市街地の土地の有効活用	21.2%	14.5%	+6.7%
2位	(14) 移動しやすい道路網の整備	21.3%	17.6%	+3.7%
3位	(12) 公共交通利用環境の向上	19.2%	16.0%	+3.2%
4位	(8) 産業振興への取り組み	9.4%	6.4%	+3.0%
5位	(40) 健全な財政の維持	11.6%	8.7%	+2.9%

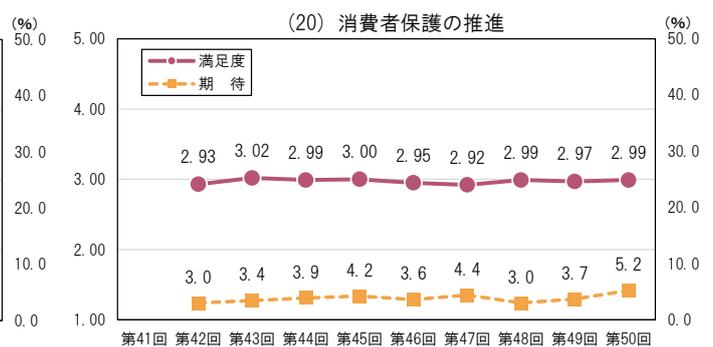
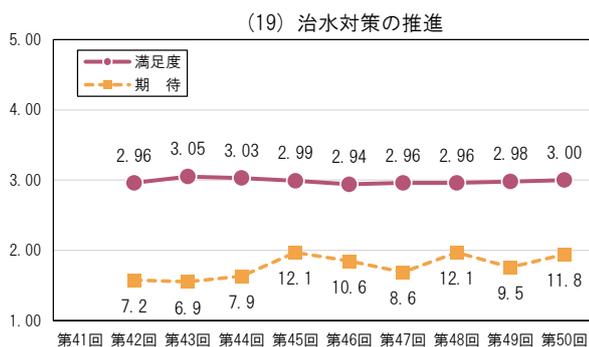
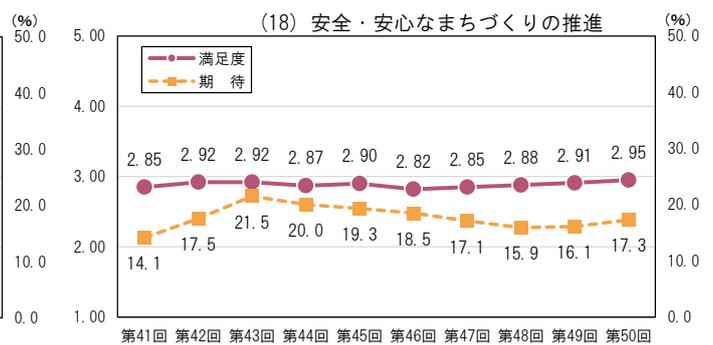
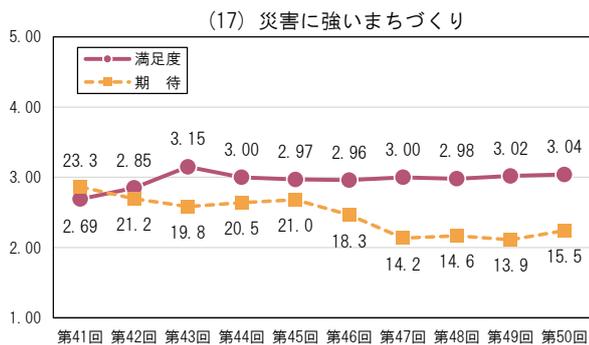
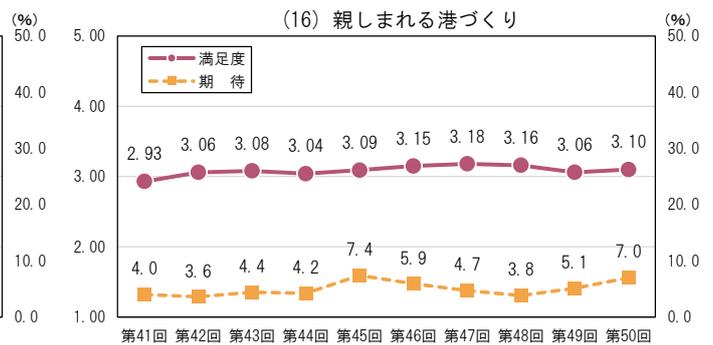
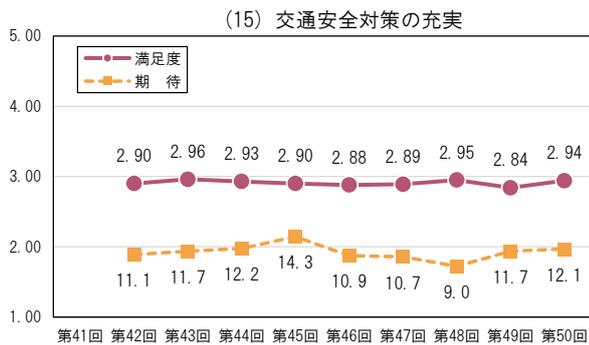
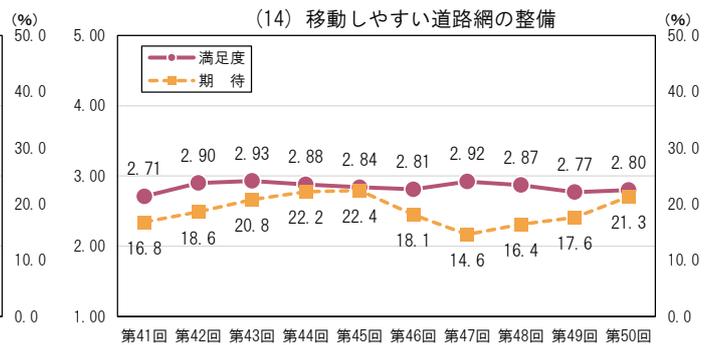
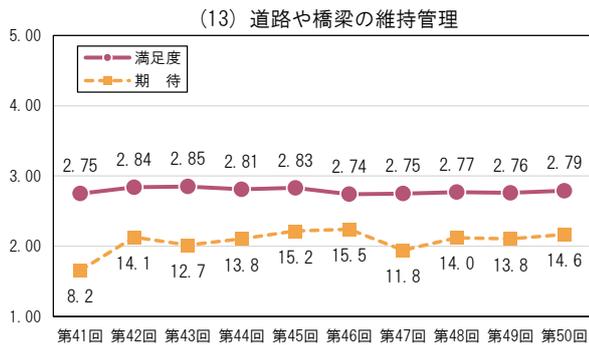
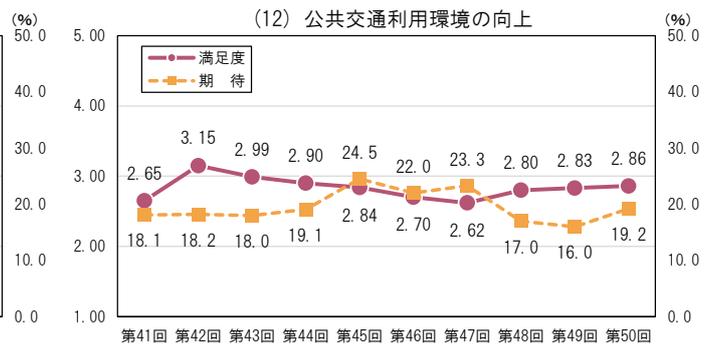
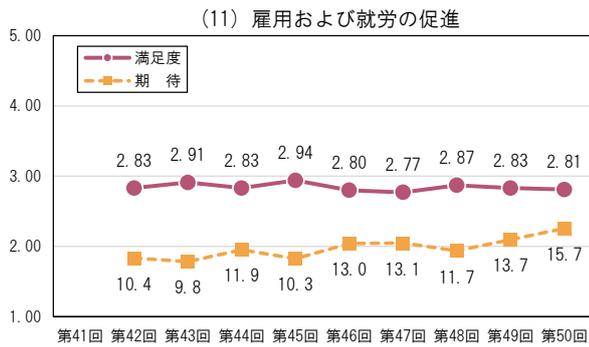
－ 満足度と期待の経年変化（40項目）－

（注）第50回：本年度調査、第41回～49回：平成25年度～令和3年度調査



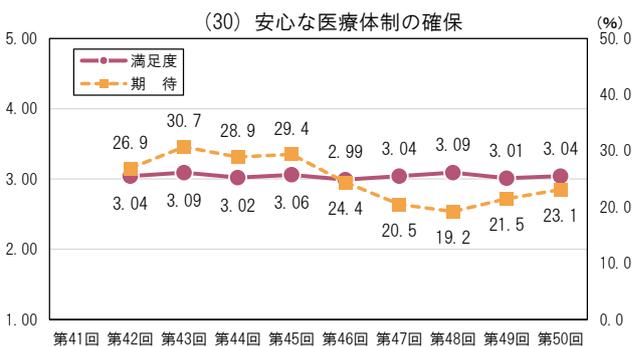
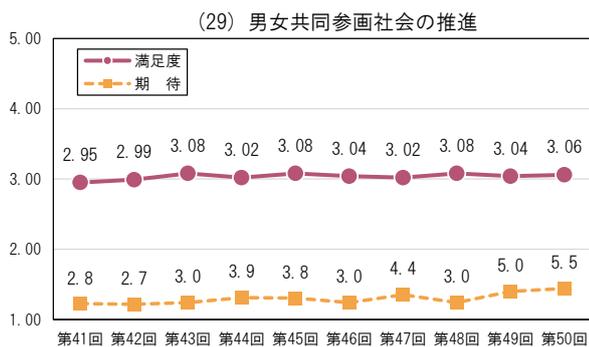
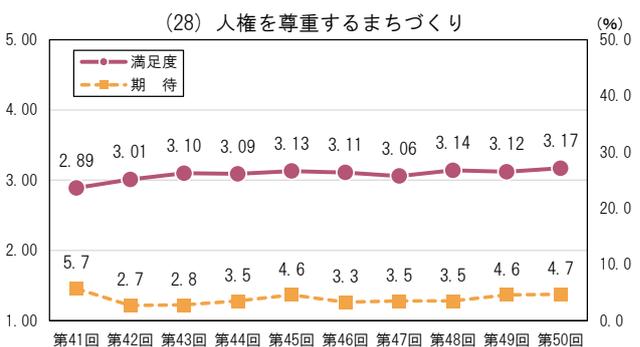
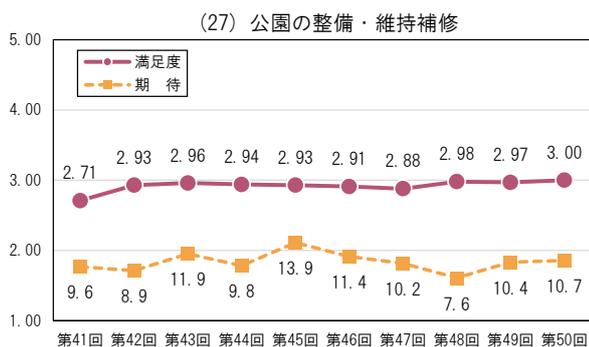
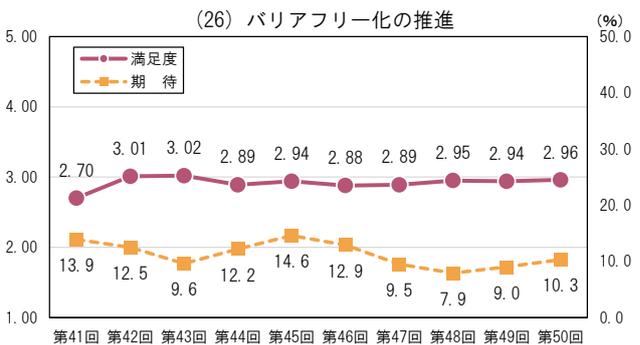
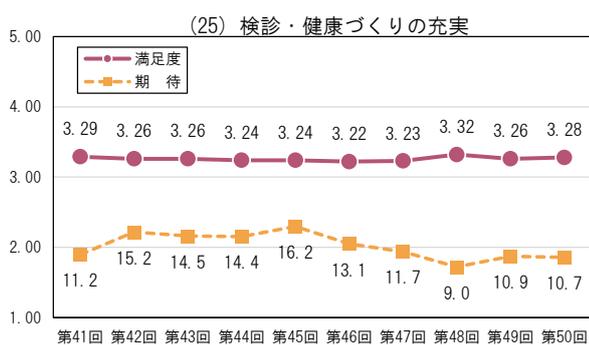
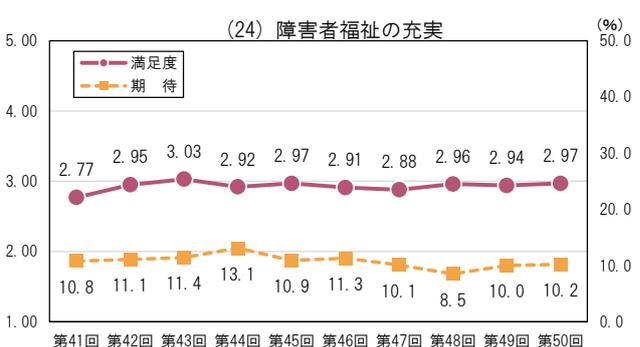
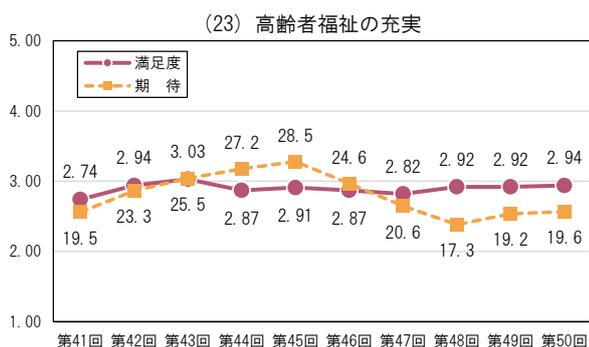
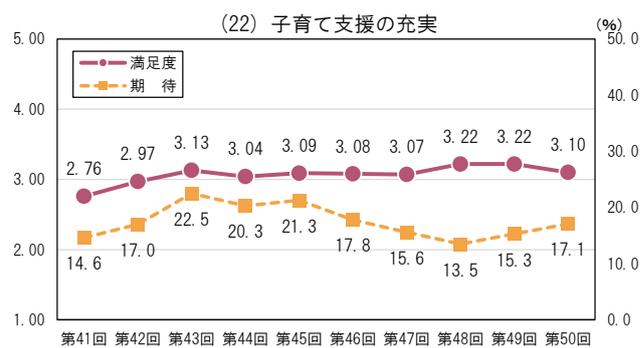
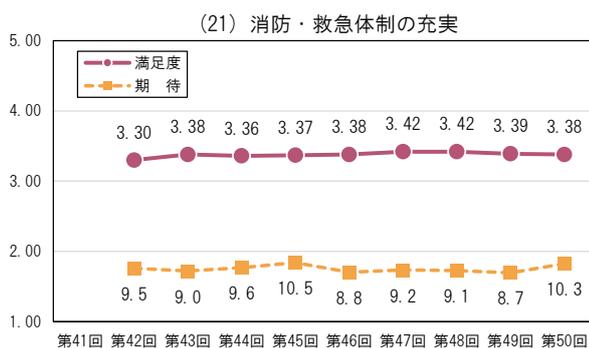
－ 満足度と期待の経年変化（40項目）－

（注）第50回：本年度調査、第41回～49回：平成25年度～令和3年度調査



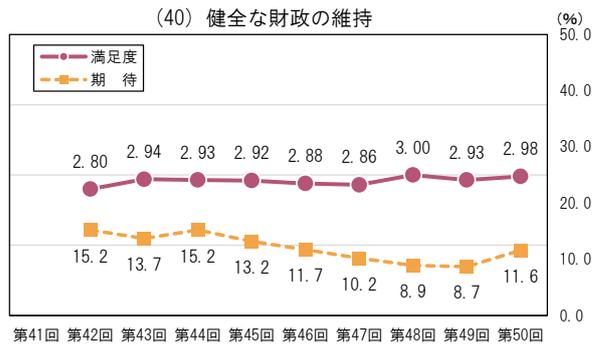
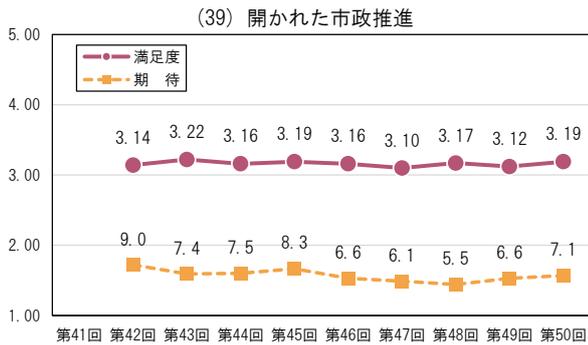
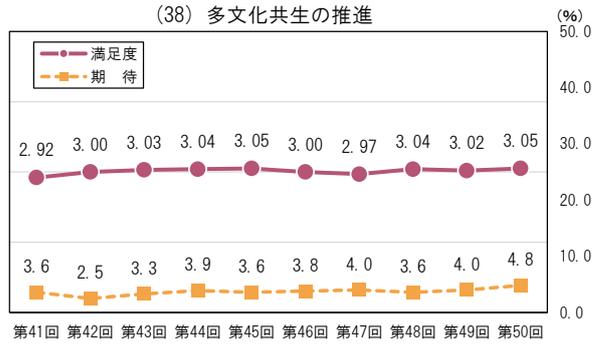
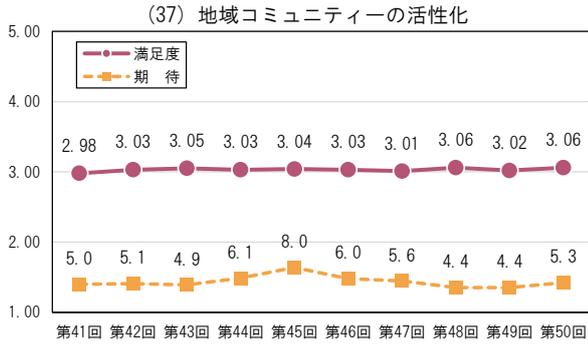
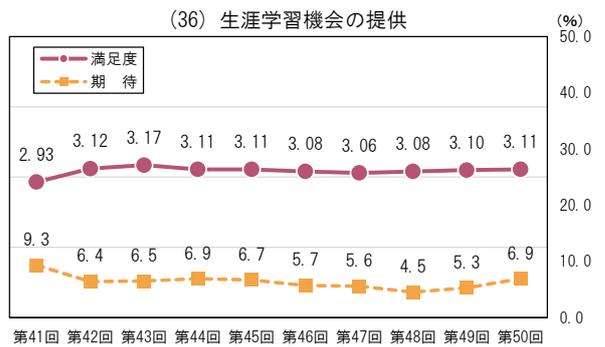
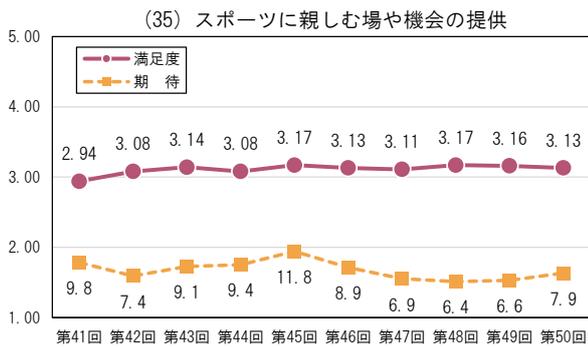
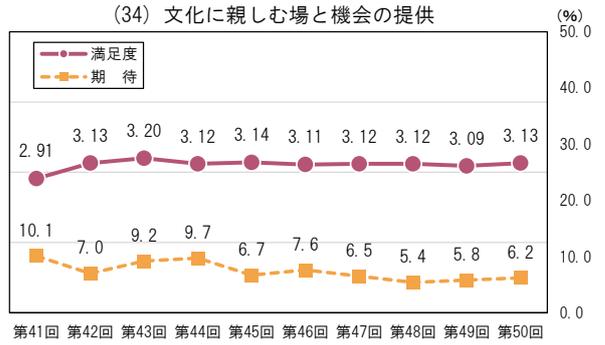
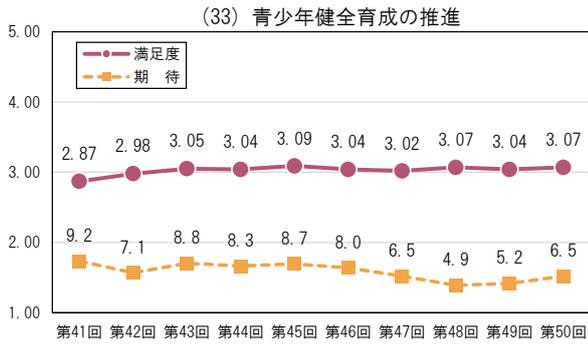
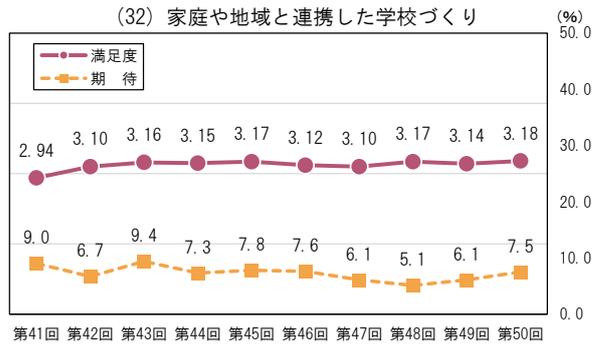
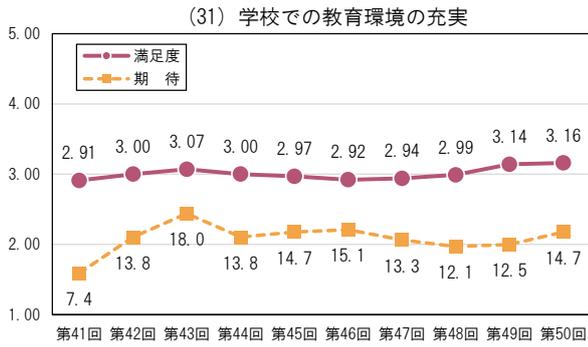
－ 満足度と期待の経年変化（40項目）－

（注）第50回：本年度調査、第41回～49回：平成25年度～令和3年度調査



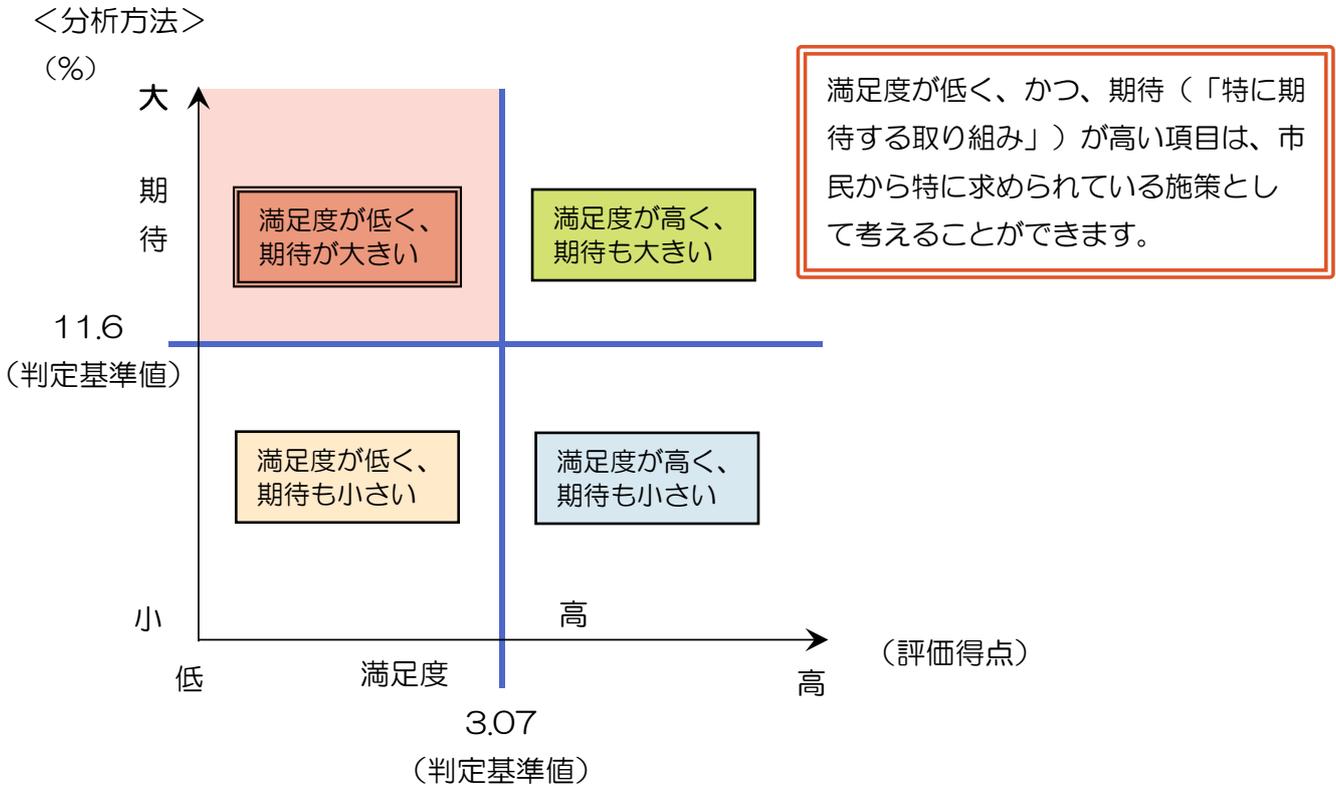
－ 満足度と期待の経年変化（40項目）－

（注）第50回：本年度調査、第41回～49回：平成25年度～令和3年度調査



(4) 市民から特に求められている施策

ここでは、市政全般の満足度と期待（問1）から、市民から特に求められている施策を分析します。



各項目の判定基準は、

- ・満足度 は 施策・事業項目（40項目）の平均値未満（3.07）
- ・期待 が 平均値以上（11.6%）

を目安として、『市民から特に求められている施策』と設定します。

【 施策・事業項目に対する考え方 】

<分類>

満足度が低く、期待が大きい ⇒

市民から特に求められている施策

満足度が高く、期待も大きい ⇒

より一層の展開が望まれる施策

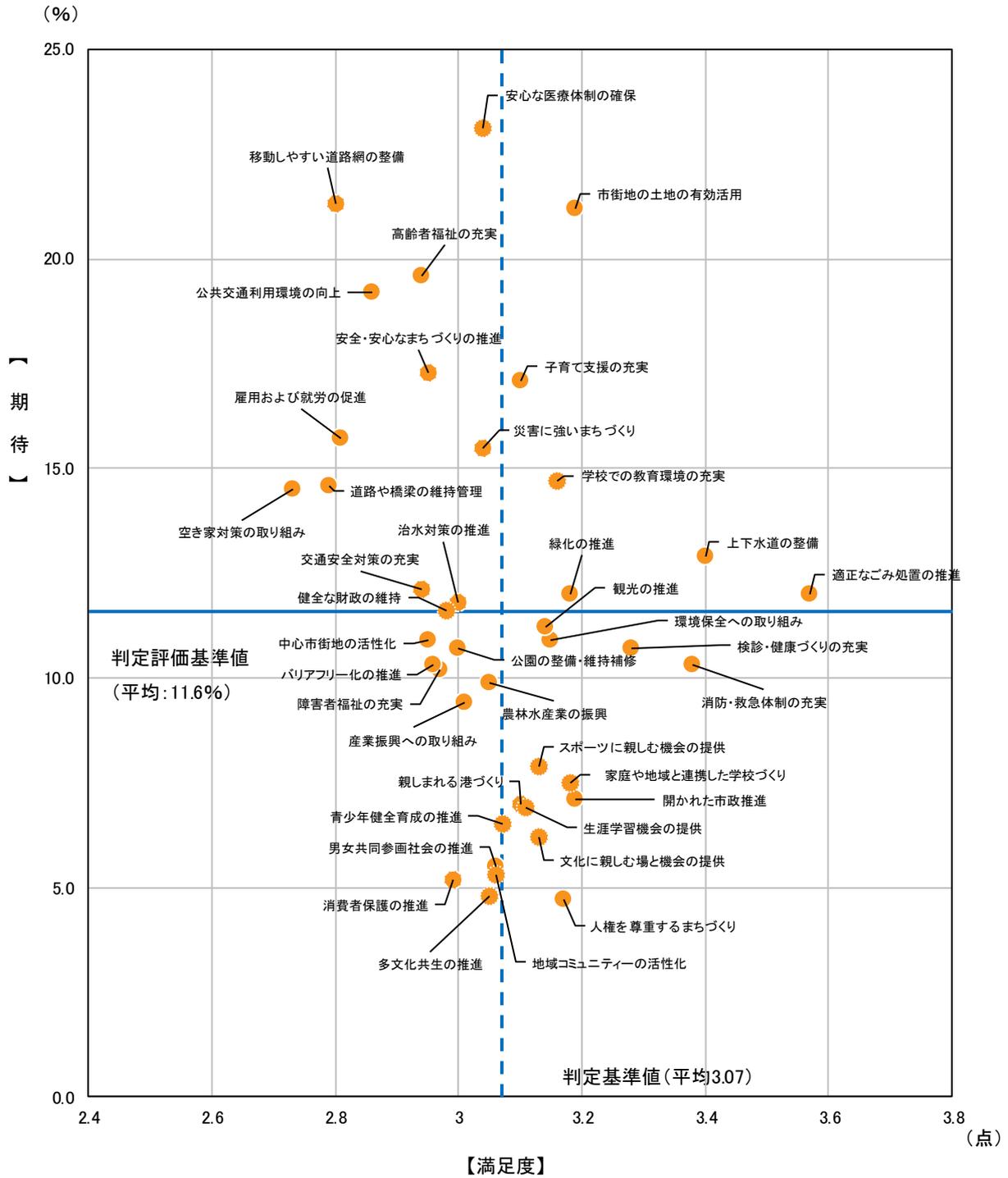
満足度が低く、期待も小さい ⇒

市民の意向を把握した上での再検討が求められている施策

満足度が高く、期待が小さい ⇒

一定の成果がみられる施策、または、事業の必要性について市からの周知が望まれる施策

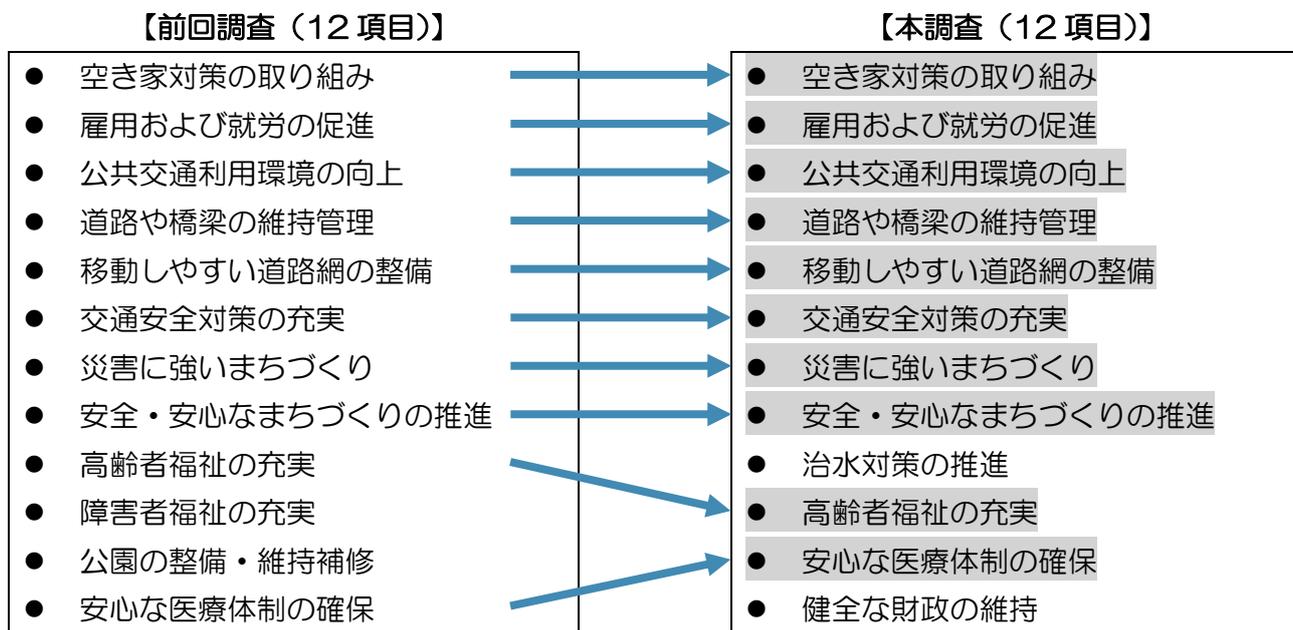
— 満足度と期待の分布（40項目） —



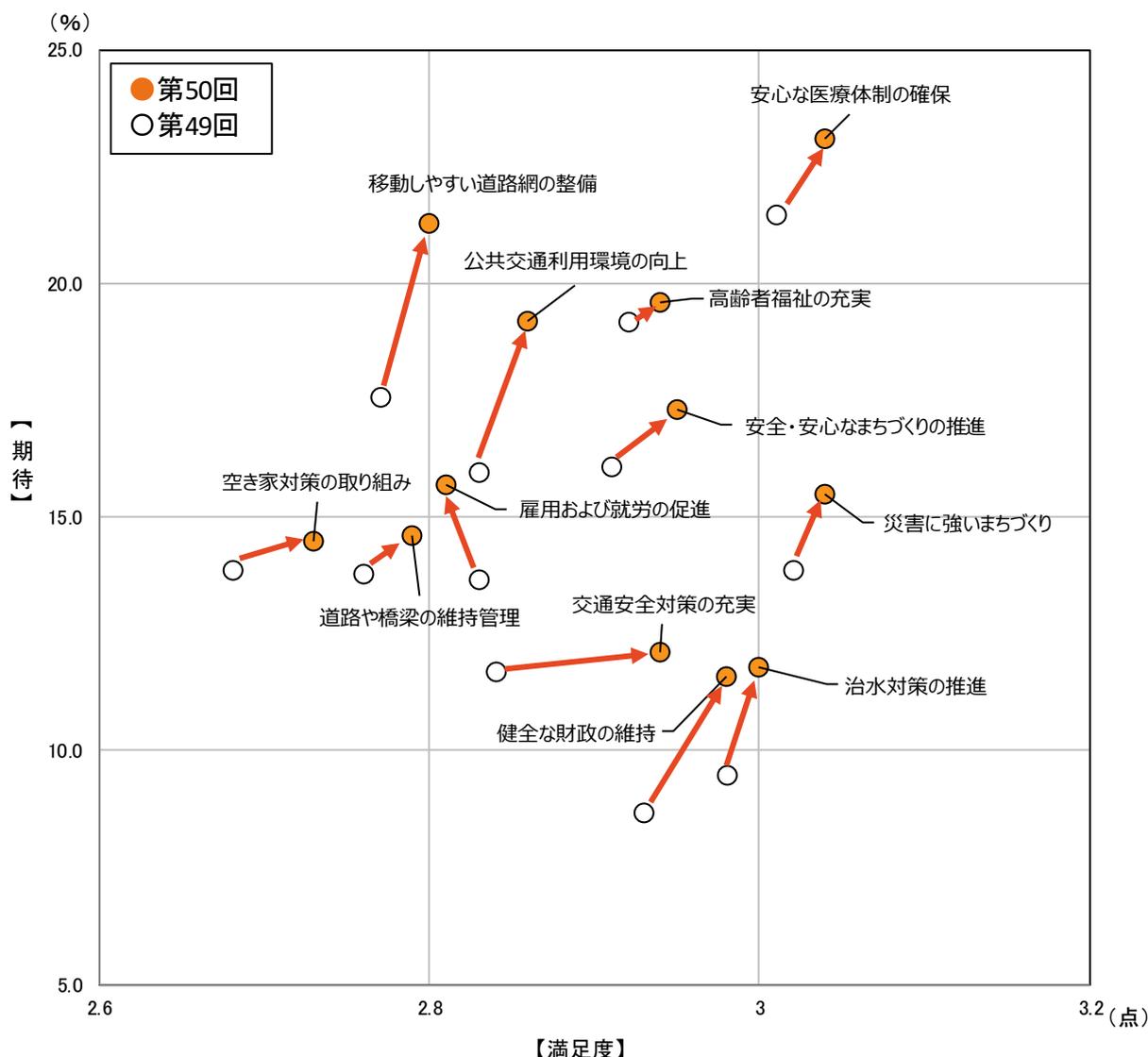
以上の基準により、満足度と期待の数値により施策を分類すると、下表のとおりとなり、「市民から特に求められている施策」は、12項目が抽出されました。

<p>市民から特に求められている施策 (満足度が低く、期待が大きい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家対策の取り組み ● 雇用および就労の促進 ● 公共交通利用環境の向上 ● 道路や橋梁の維持管理 ● 移動しやすい道路網の整備 ● 交通安全対策の充実 ● 災害に強いまちづくり ● 安全・安心なまちづくりの推進 ● 治水対策の推進 ● 高齢者福祉の充実 ● 安心な医療体制の確保 ● 健全な財政の維持 <p style="text-align: right;">(12 項目)</p>
<p>より一層の展開が望まれる施策 (満足度が高く、期待も大きい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市街地の土地の有効活用 ● 緑化の推進 ● 適正なごみ処置の推進 ● 上下水道の整備 ● 子育て支援の充実 ● 学校での教育環境の充実 <p style="text-align: right;">(6 項目)</p>
<p>市民の意向を把握した上での再検討が求められている施策 (満足度が低く、期待も小さい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 農林水産業の振興 ● 産業振興への取り組み ● 中心市街地の活性化 ● 消費者保護の推進 ● 障害者福祉の充実 ● バリアフリー化の推進 ● 公園の整備・維持補修 ● 男女共同参画社会の推進 ● 青少年健全育成の推進 ● 地域コミュニティの活性化 ● 多文化共生の推進 <p style="text-align: right;">(11 項目)</p>
<p>一定の成果がみられる施策、または、事業の必要性について市からの周知が望まれる施策 (満足度が高く、期待が小さい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境保全への取り組み ● 観光の推進 ● 親しまれる港づくり ● 消防・救急体制の充実 ● 検診・健康づくりの充実 ● 人権を尊重するまちづくり ● 家庭や地域と連携した学校づくり ● 文化に親しむ場と機会の提供 ● スポーツに親しむ機会の提供 ● 生涯学習機会の提供 ● 開かれた市政推進 <p style="text-align: right;">(11 項目)</p>

ここで、「市民から特に求められている施策」を前回調査と比較すると、以下のとおりとなりました。12項目中10項目は、前回からの継続項目となっており、今回の調査で加わった項目は「治水対策の推進」となっています。



続いて、「市民から特に求められている施策」の満足度・期待の変化を下図に示します。



「市民から特に求められている施策」の12項目中、満足度が上昇している項目が11項目、低下している項目が1項目でした。上昇の幅が大きい項目は「交通安全対策の充実」、「空家対策の取り組み」、「安全・安心なまちづくりの推進」などで、一方低下した項目は「雇用および就労の促進」となっています。

期待については、上昇している項目は12項目中すべての項目で上昇しています。特に上昇の幅が大きい項目は「移動しやすい道路網の整備」、「公共交通利用環境の向上」、「雇用および就労の促進」などとなっています。

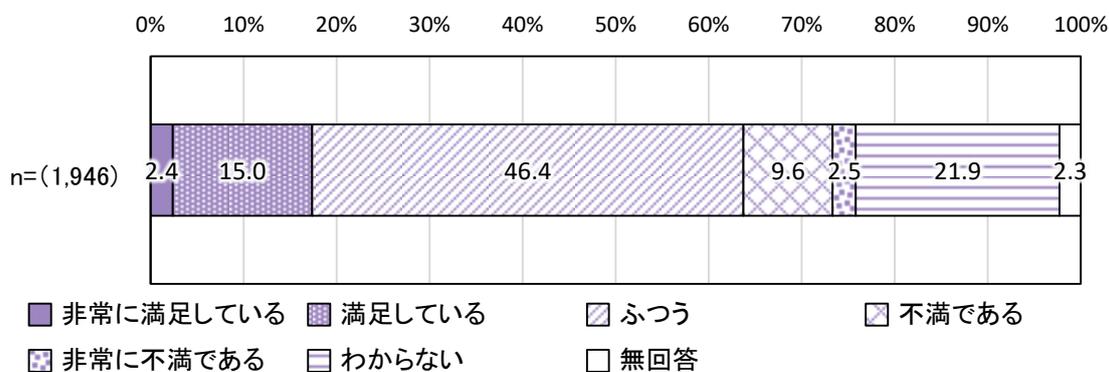
満足度が低下し、期待が上昇している「雇用および就労の促進」においては、特に今後の施策・事業の取り組みが重要になります。

(5) その他

市民の声では、施策・事業内容について、まだまだ“わかりづらい”という意見も見られます。

満足度についての評価（全 40 項目）にあたって、「わからない」と回答した割合についてみると、全 40 個項目の平均は 21.9%となっています。

－ 満足度調査における全 40 項目の平均 －



－ 満足度調査における「わからない」回答 (%) の割合 －

第 43 回 40 項目 (平均)	第 44 回 40 項目 (平均)	第 45 回 40 項目 (平均)	第 46 回 40 項目 (平均)	第 47 回 40 項目 (平均)	第 48 回 40 項目 (平均)	第 49 回 40 項目 (平均)	第 50 回 40 項目 (平均)
18.5%	18.7%	20.8%	22.1%	23.0%	22.3%	21.7%	21.9%

「わからない」と回答した割合が最も高い施策・事業は、前回調査に引き続き「多文化共生の推進」(41.9%)で、次いで「男女共同参画社会の推進」(35.8%)、「生涯学習機会の提供」(34.6%)、「青少年健全育成の推進」(34.5%)、「学校での教育環境の充実」(33.4%)となっています。なお、「男女共同参画社会の推進」、「青少年健全育成の推進」、学校での教育環境の充実」は前回調査でも「わからない」と回答した割合が上位 5 項目に含まれていました。

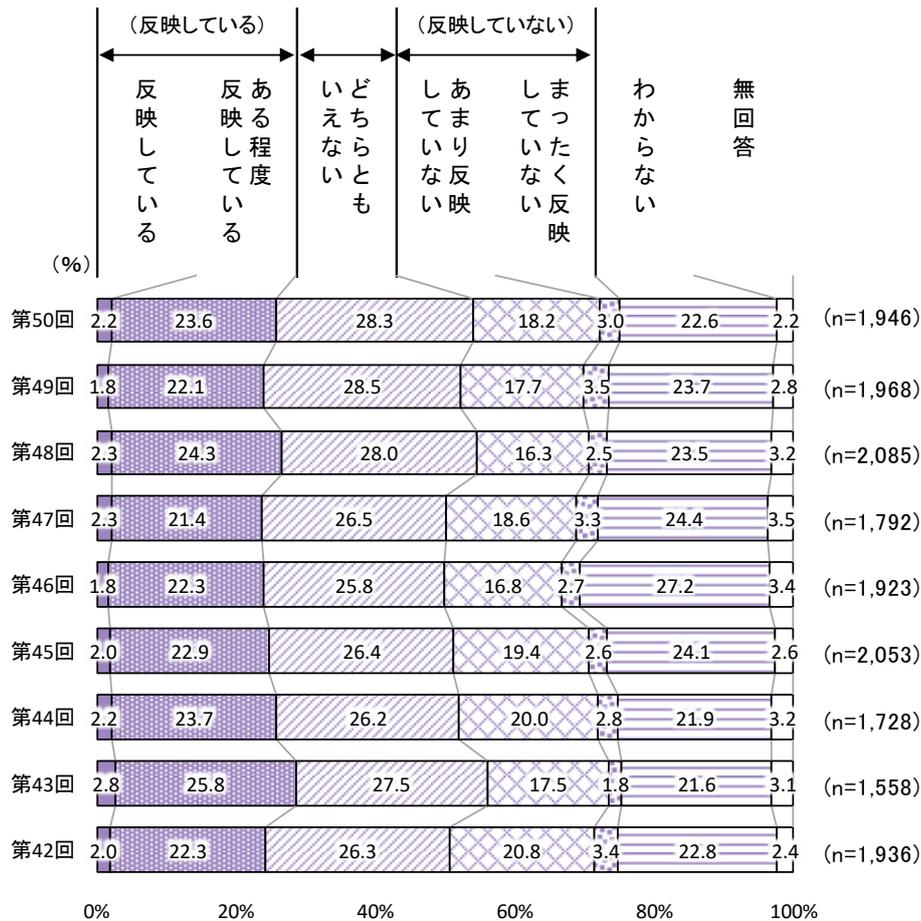
施策・事業項目に対する「わからない」という回答率を減少させることは、市民と市政の距離を近づける大きな指標になっていると考えられます。今後も施策・事業内容に関して市民へ一層わかりやすい情報提供を行っていく必要があります。

2 日ごろの生活と市政について

(1) 市民の意見反映について

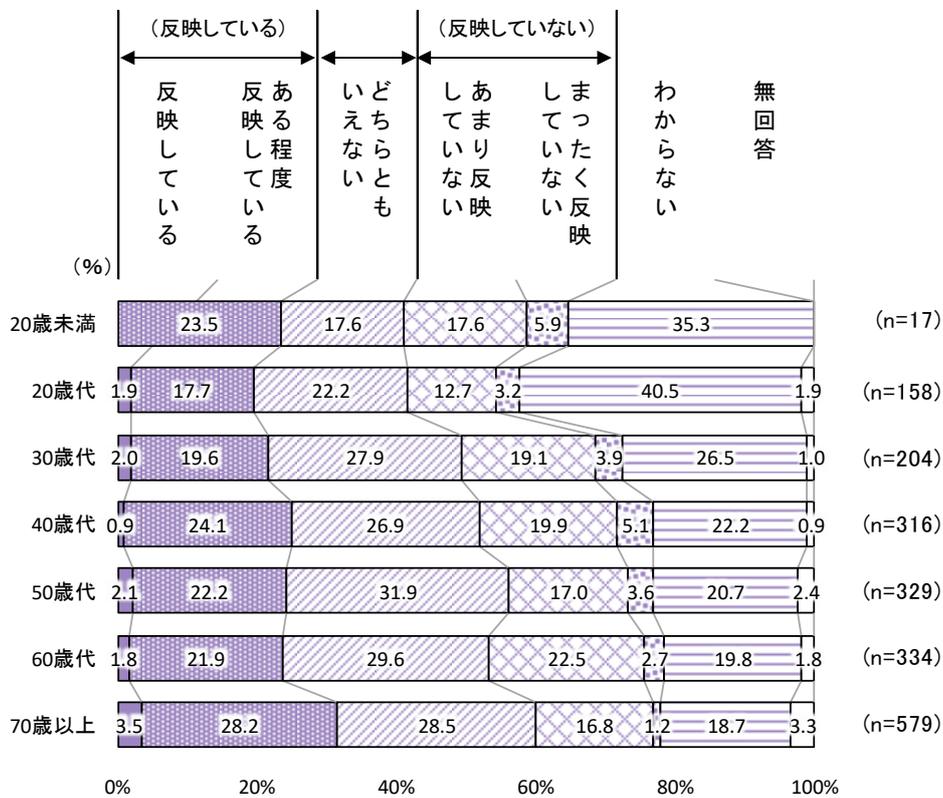
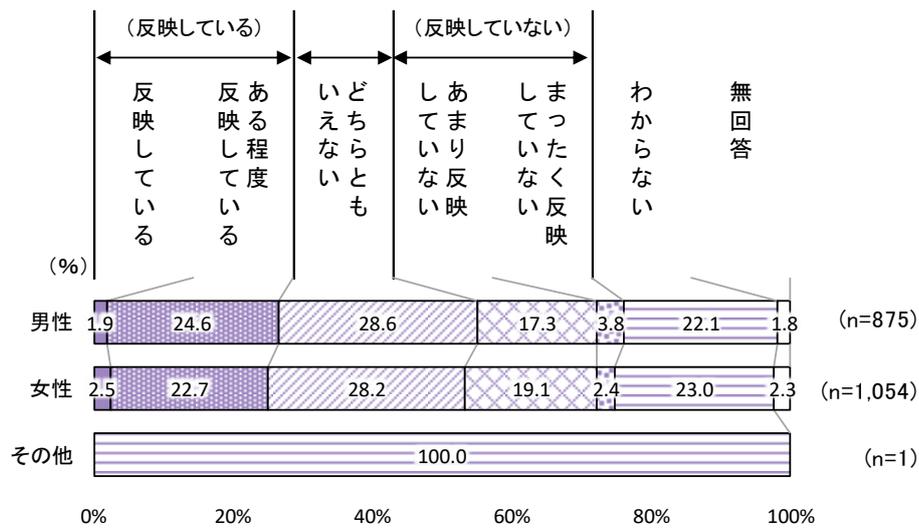
問2. 市は、さまざまな機会を通じて、市民の皆さんの意見をお聴きしていますが、市政に反映していると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 「反映している」が「反映していない」より高い
- 経年でみると、前回調査よりも「反映している」は増加、「反映していない」は同率



- 市民の意見を市政に反映していると思うかどうかについて聞いたところ、「反映している（「反映している」＋「ある程度反映している」）は25.8%、「反映していない（「まったく反映していない」＋「あまり反映していない」）は21.2%となり、「反映している」と回答した人の割合の方が高くなっています。
- また、「どちらともいえない」と回答した人は28.3%、「わからない」は22.6%となっており、「どちらともいえない」と「わからない」を合わせると半数を超えています。
- 過年度調査と比較すると、「反映している」と回答した人の割合は、第49回調査では減少傾向となりましたが、本調査では再び増加となりました。

- 「反映していない」と思う人の割合は、男性より女性が高い
- 「反映している」と思う人の割合は、70歳以上が最も高い

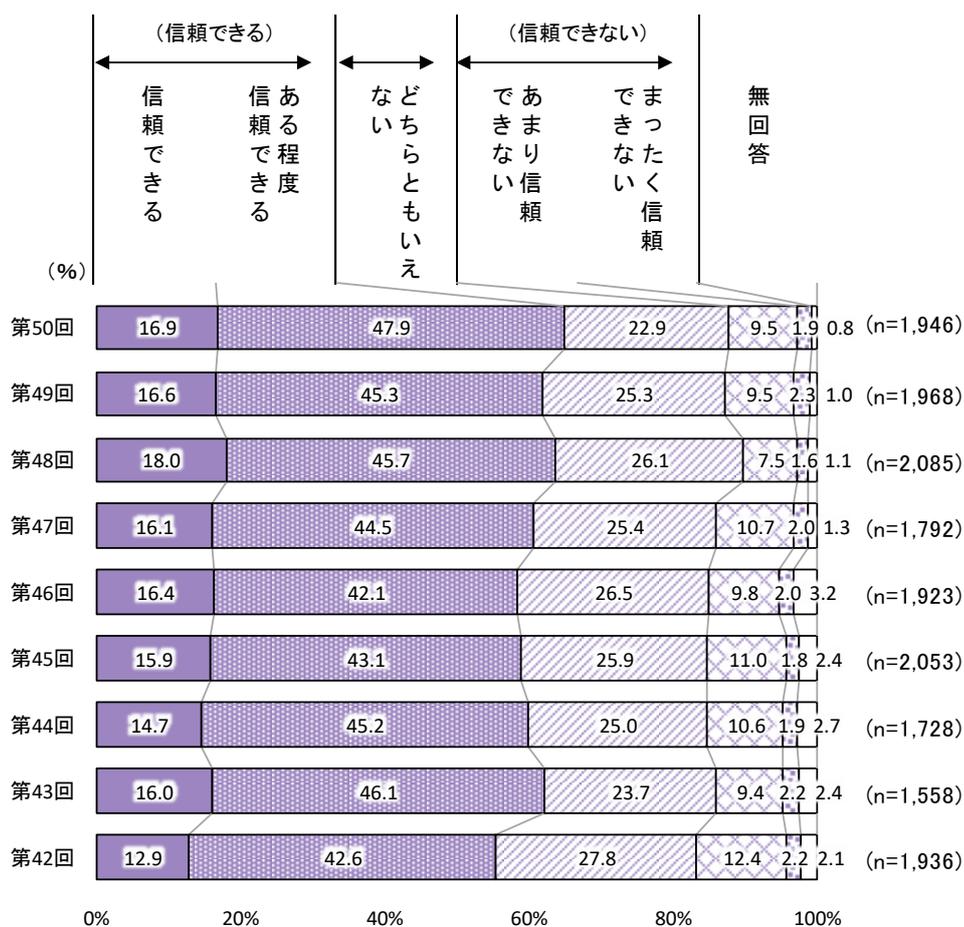


- 性別にみると、「反映している」と回答した人の割合は、男性 26.5%、女性 25.2%と大きな差はみられません。「反映していない」と回答した人の割合も、男性 21.1%、女性 21.5%と大きな差はみられません。「わからない」と回答した人の割合も性別による大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、「反映している」と回答した人の割合は、70歳以上が 31.7%で最も高く、20歳代の 19.6%が最も低くなっています。一方で、「わからない」と回答した人の割合は、20歳代が 40.5%と最も高くなっています。

(2) 市職員に対する信頼度について

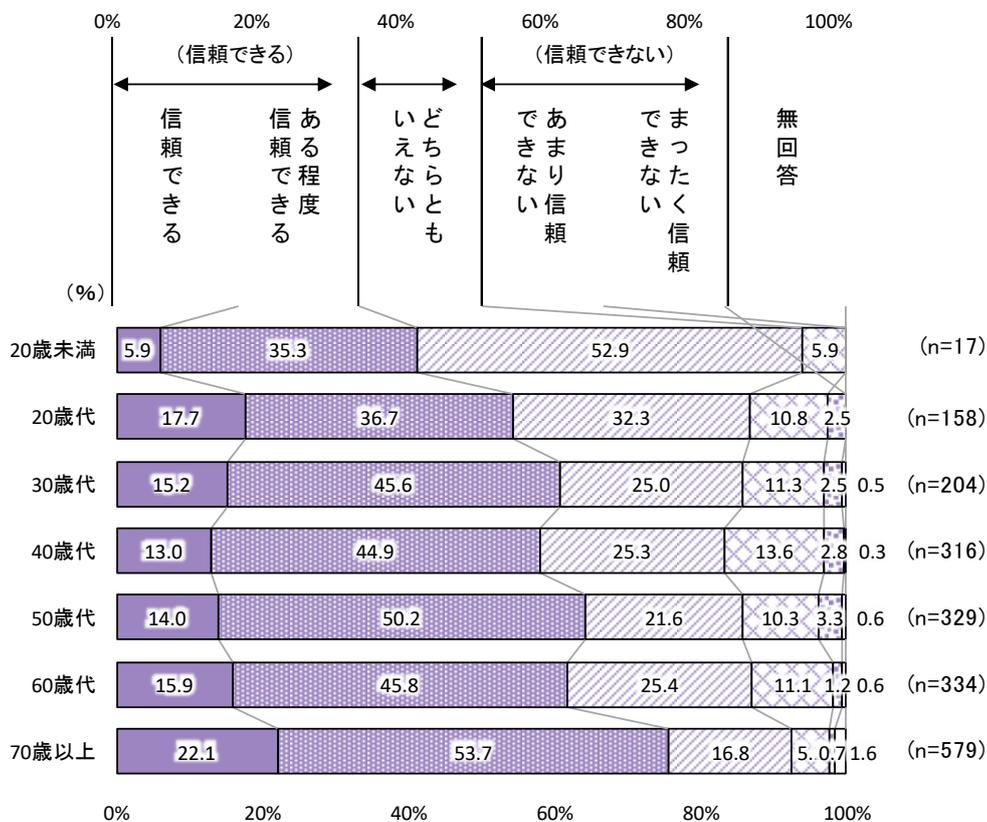
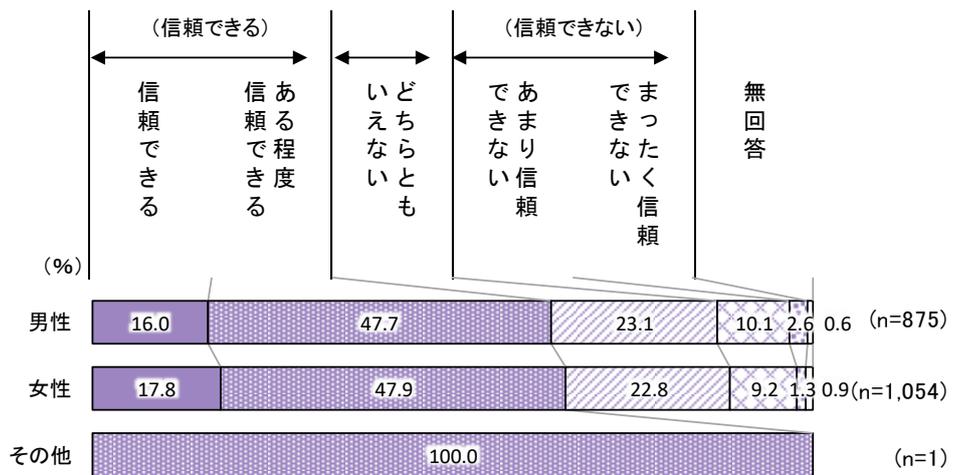
問3. 市職員の仕事ぶりや市民への窓口対応など、総合的に見て、あなたの市職員に対する信頼度についてお尋ねします。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 前回調査に続き「信頼できる」が6割を超える
- 経年でみると、「信頼できる」は微増



- 市職員に対する信頼度について聞いたところ、「信頼できる（「信頼できる」＋「ある程度信頼できる」）と回答した人の割合は 64.8%となっています。反対に、「信頼できない（「まったく信頼できない」＋「あまり信頼できない」）」と回答した人の割合は 11.4%、「どちらともいえない」と回答した人の割合は 22.9%となっています。
- 過年度調査と比較すると、前回調査よりも「信頼できる」と回答した人の割合は 2.9 ポイント増加しており、一方で「信頼できない」と回答した人の割合は 0.4 ポイント減少となっています。

- 「信頼できる」と感じている人の割合は、男性、女性ともに6割以上
- 「信頼できる」と感じている人の割合は、70歳以上が最も高く7割以上

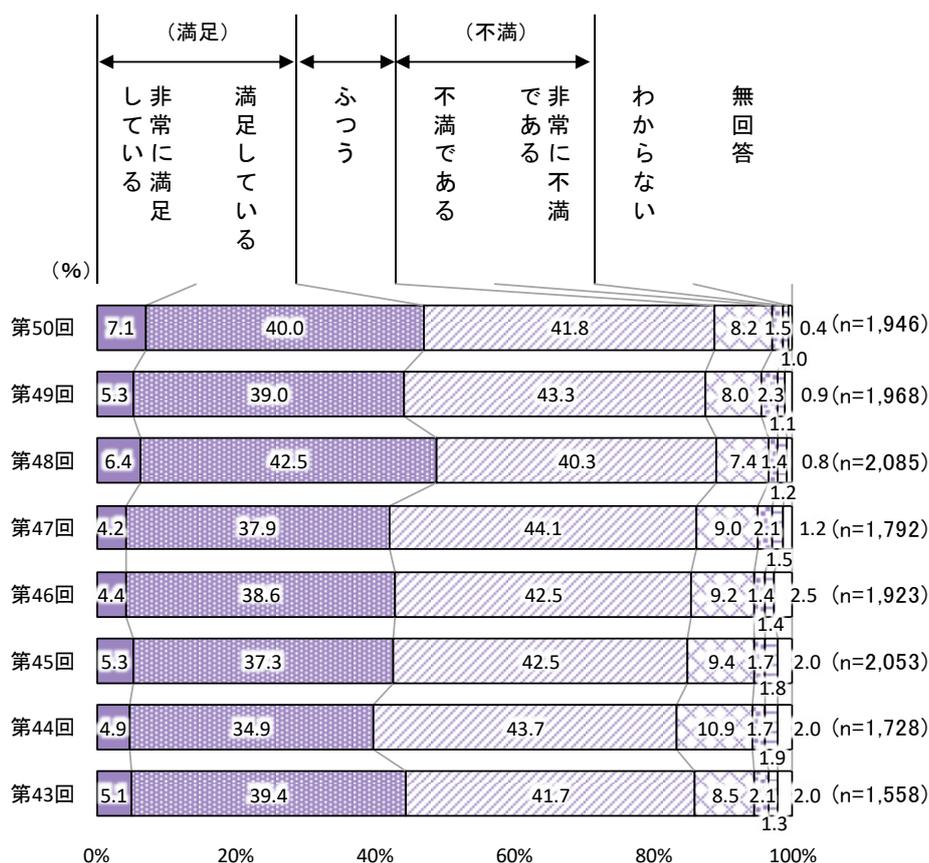


- 性別にみると、「信頼できる」と回答した人の割合は、男性 63.7%、女性 65.7%と大きな差はみられません。また、「信頼できない」と回答した人の割合も、男性 12.7%、女性 10.5%と大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、「信頼できる」と回答した人の割合は、70歳以上の 75.8%が最も高く、20歳未満の 41.2%が最も低くなっています。

(3) 四日市市居住に対する総合的な満足度について

問4. 四日市市に住んでいることについて総合的な満足度をお尋ねします。
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 「満足している」人の割合は5割弱
- 経年でみると、「満足している」人の割合は微増

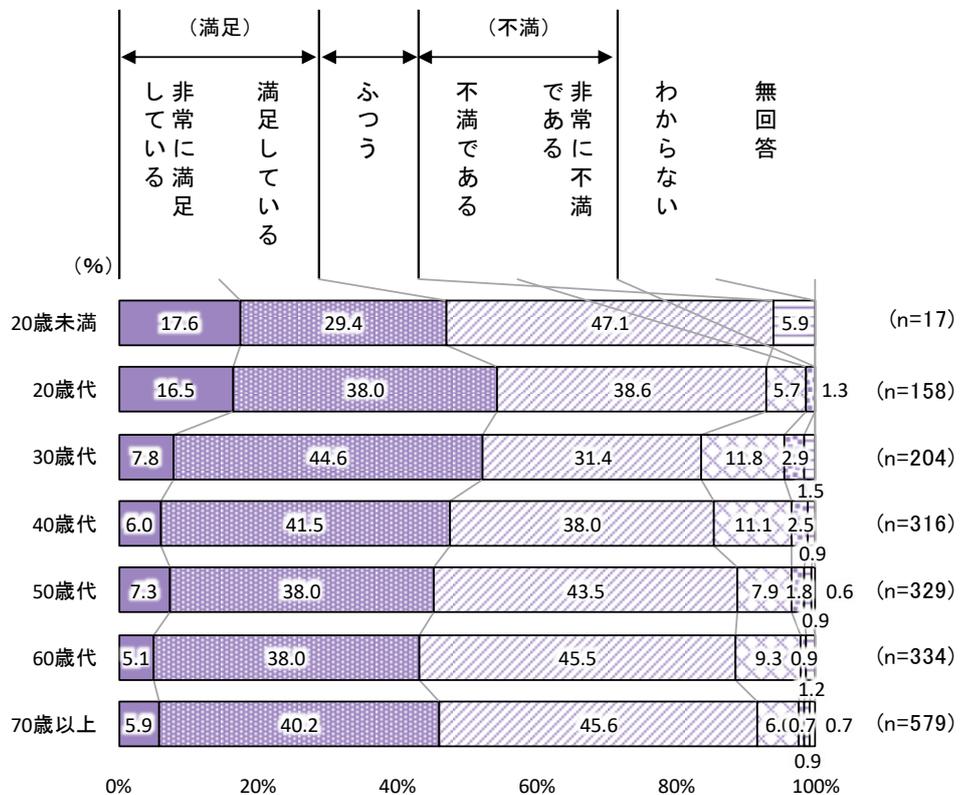
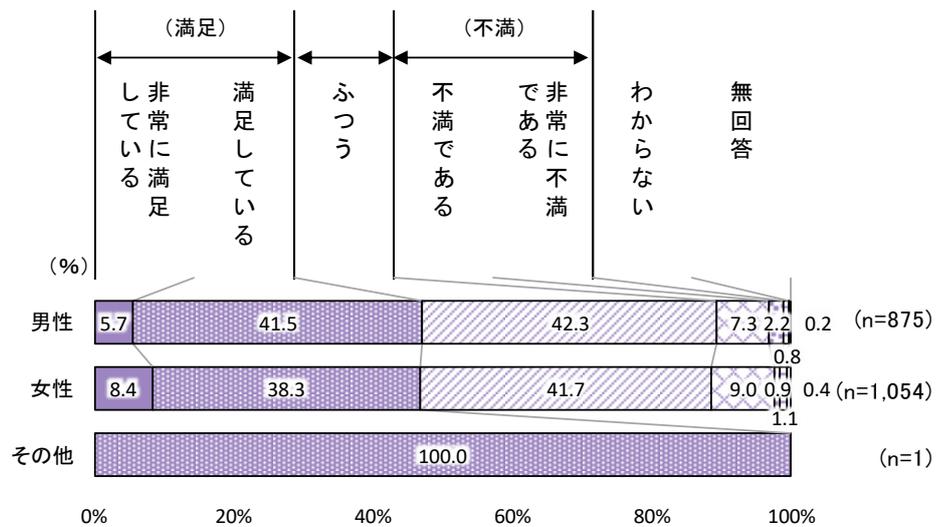


- 四日市市に住んでいることについての総合的な満足度を聞いたところ、「満足（「非常に満足している」＋「満足している」）と回答した人の割合は47.1%となり、半数近くの方が四日市市居住に対して総合的に満足していると思われます。また、「ふつう」と回答した人の割合は41.8%となっています。反対に、「不満（「不満である」＋「非常に不満である」）」と回答した人の割合は9.7%となっています。
- 過年度調査と比較すると、前回調査よりも「満足」と回答した人の割合は2.8ポイント増加しており、一方で「不満」と回答した人の割合は0.6ポイント減少となっています。

【四日市市居住に対する満足度について】

四日市市居住に対する総合的な満足度について、問1と同様に評価得点（5ページ参照）を算出すると、評価得点は3.44となり、市政における施策・事業に対する満足度の評価得点（40項目の平均）3.07と比較して、高い数値となっています。

- 「満足」と感じている人の割合は、男性、女性ともに4割後半
- 「不満」と感じている人の割合は、30歳代、40歳代、60歳代が1割超



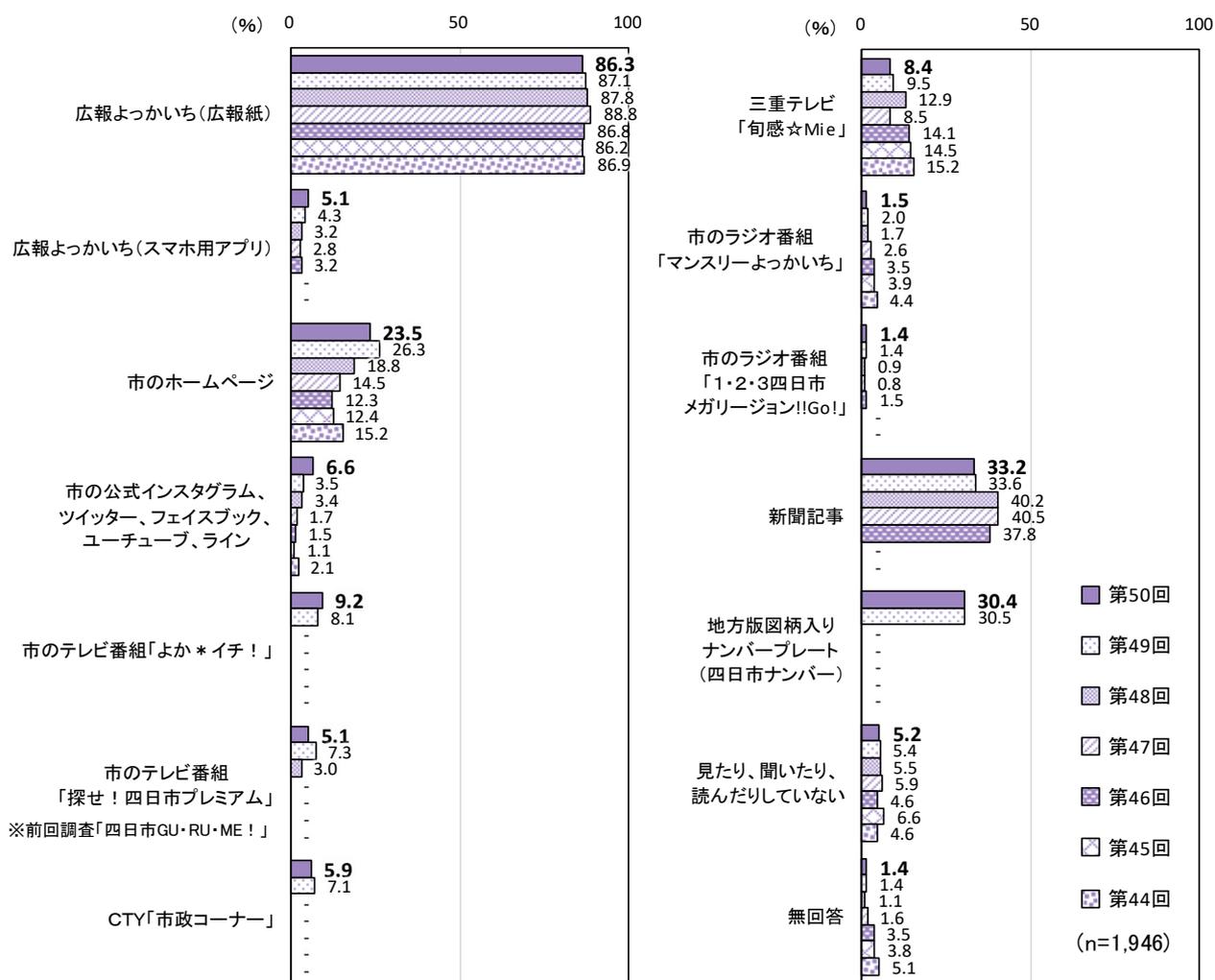
- 性別にみると、「満足」と回答した人の割合は、男性47.2%、女性46.7%と大きな差はみられません。また、「不満」と回答した人の割合も、男性9.5%、女性9.9%と大きな差はみられません。
- 年齢別にみると、「満足」と回答した人の割合は、20歳代の54.5%が最も高く、60歳代の43.1%が最も低くなっています。

(4) 市の広報活動について

① この3カ月間で利用した広報媒体

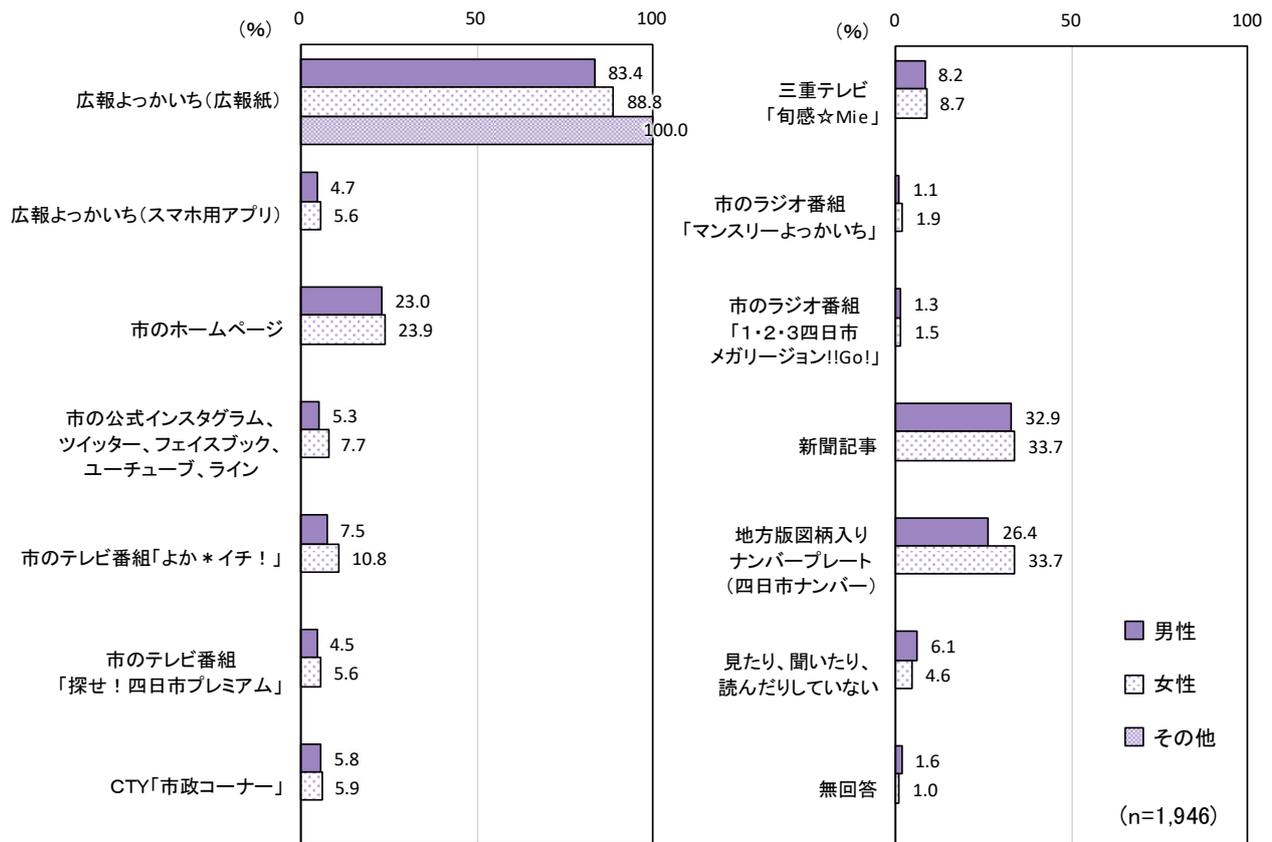
問5. 市が行う広報活動の中で、あなたがこの3カ月の間で、見たり、聞いたり、読んだりしたことがあるものはどれですか。
次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 「広報よっかいち（広報紙）」が9割弱、「新聞記事」が3割超
- 経年でみると、「市の公式インスタグラム、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブ、ライン」は増加傾向



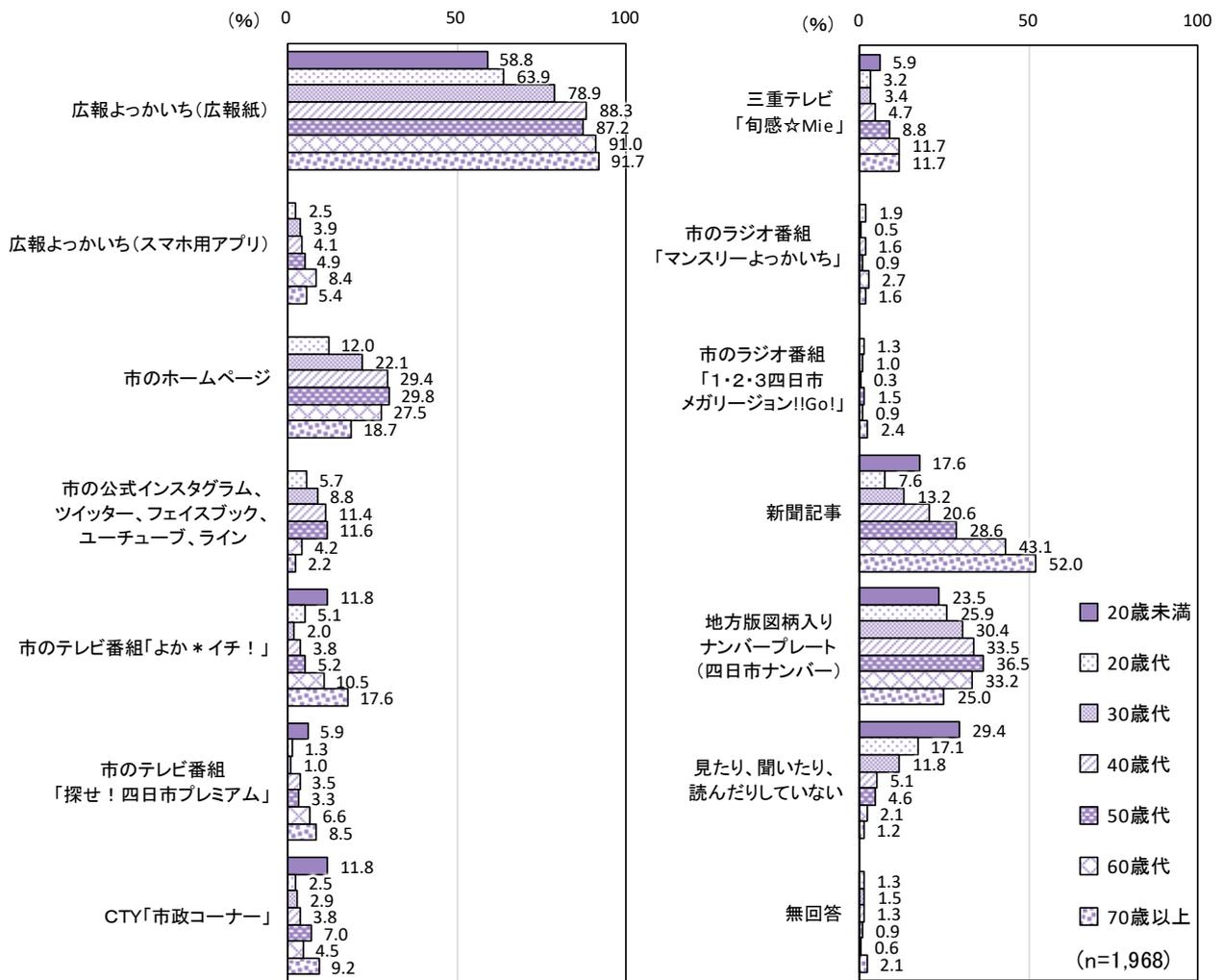
- この3カ月間に見たり、聞いたり、読んだりしたことのある広報活動については、「広報よっかいち（広報紙）」が86.3%で最も高く、次いで「新聞記事」が33.2%、「地方版図柄入りナンバープレート（四日市ナンバー）」が30.4%、「市のホームページ」が23.5%となっています。また、広報活動に関心の薄い人（見たり、聞いたり、読んだりしていない人）は5.2%となっています。
- 過年度調査と比較すると、「市の公式インスタグラム、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブ、ライン」で増加傾向となっています。

➤ 「地方版図柄入りナンバープレート（四日市ナンバー）」の割合は、男性よりも女性が高い



- 性別にみると、男性、女性ともに「広報よっかいち（広報紙）」が最も高くなっています。最も差がみられたのは、「地方版図柄入りナンバープレート（四日市ナンバー）」で女性が男性よりも7.3ポイント高く、次いで「広報よっかいち（広報紙）」で女性が男性よりも5.4ポイント高くなっています。
- 広報活動に関心の薄い人（「見たり、聞いたり、読んだりしていない」と回答した人）は男性6.1%、女性4.6%と男性の方が1.5ポイント高くなっています。

- 「広報よっかいち」を見る割合はすべての年代で5割を超え、40代以上では8割超
- 年齢が低くなるにつれ「見たり、聞いたり、読んだりしていない」と回答した割合が高い

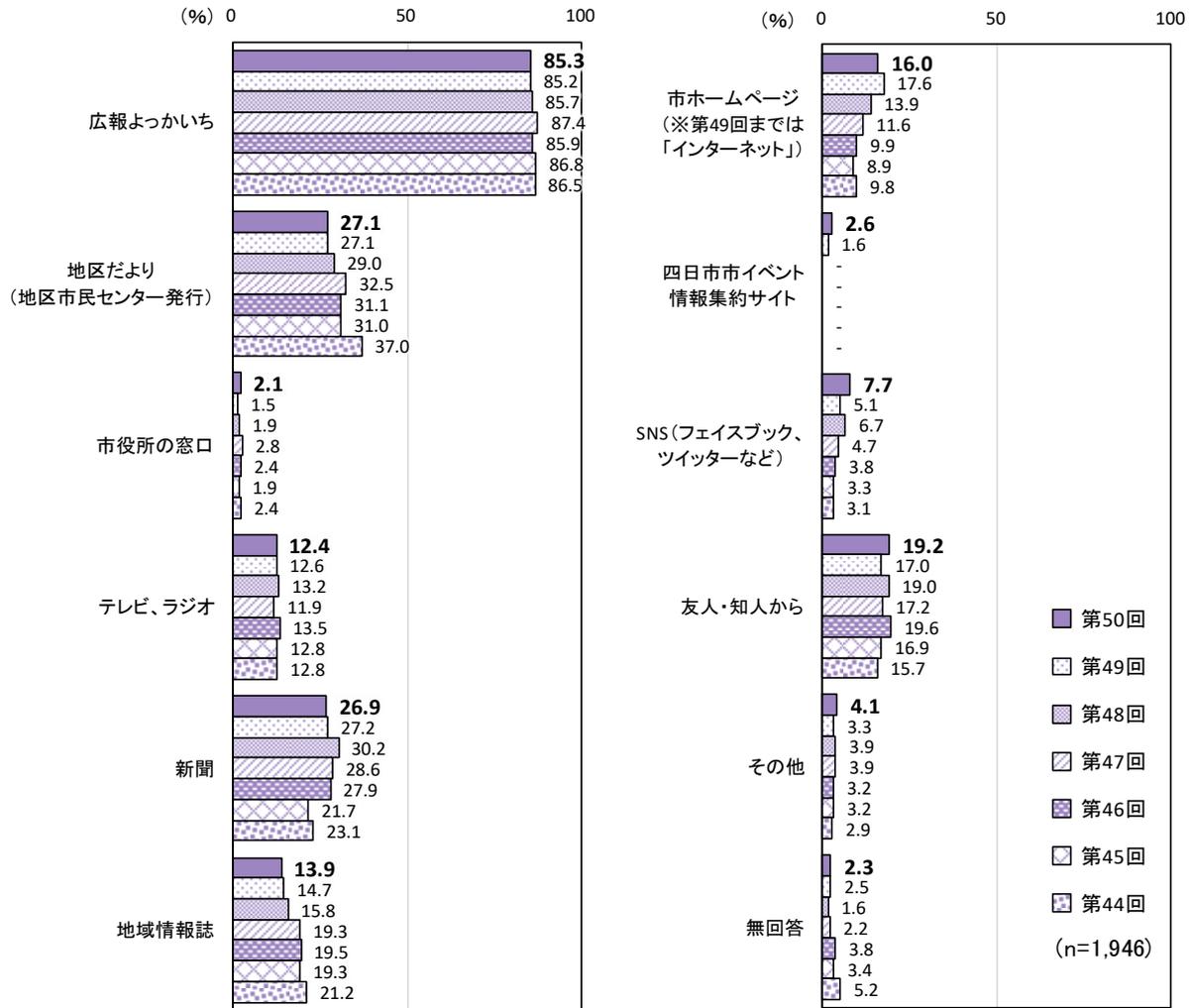


- 年齢別にみると、「広報よっかいち（広報紙）」と回答した人の割合はすべての年代で5割を超え、60歳代以上では9割を超え高くなっています。「新聞記事」と回答した人の割合は、全体では33.2%でしたが、20歳代では1割以下と特に低くなっています。
- 年齢で差が大きかった項目は「新聞記事」で、70歳以上で52.0%と最も高く、20歳代で7.6%と最も低くなっています。
- 広報活動に関心の薄い人（「見たり、聞いたり、読んだりしていない」と回答した人）の割合は年齢が低くなるにつれて高くなっており、20歳未満で29.4%となっています。

② 市が開催するイベントなどの行政情報入手媒体

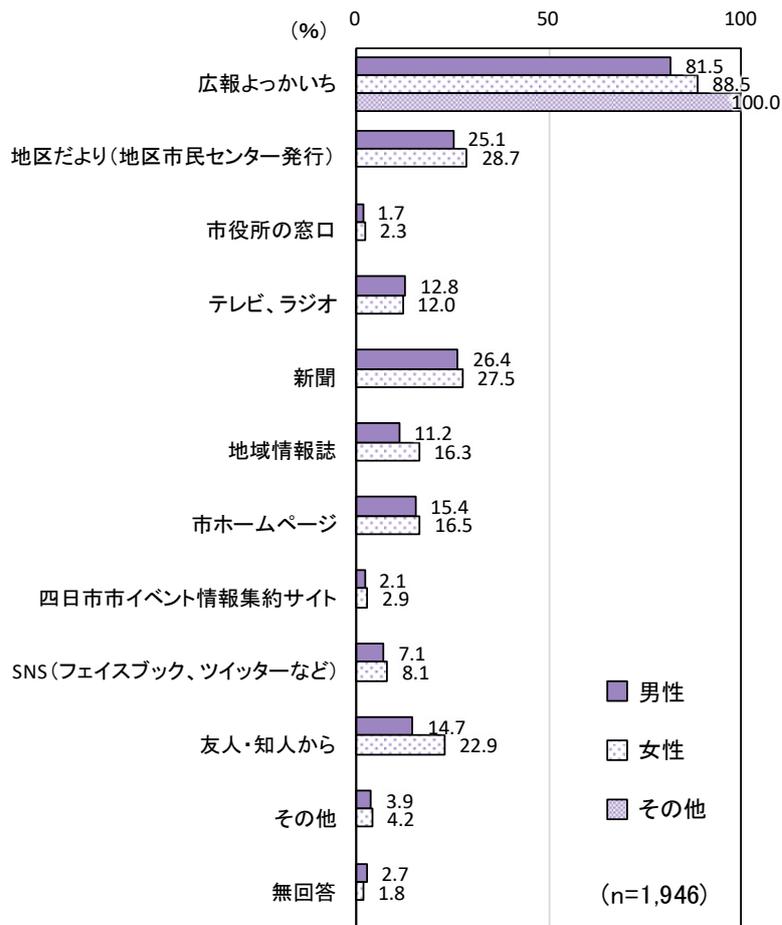
問6. 市が開催するイベントや市の施策などの行政情報をどのように入手していますか。
次の中から当てはまるものすべて選んで番号に○をつけてください。

➤ 情報入手は「広報よっかいち（広報紙）」が8割半ば、「地区だより」と「新聞」が3割弱



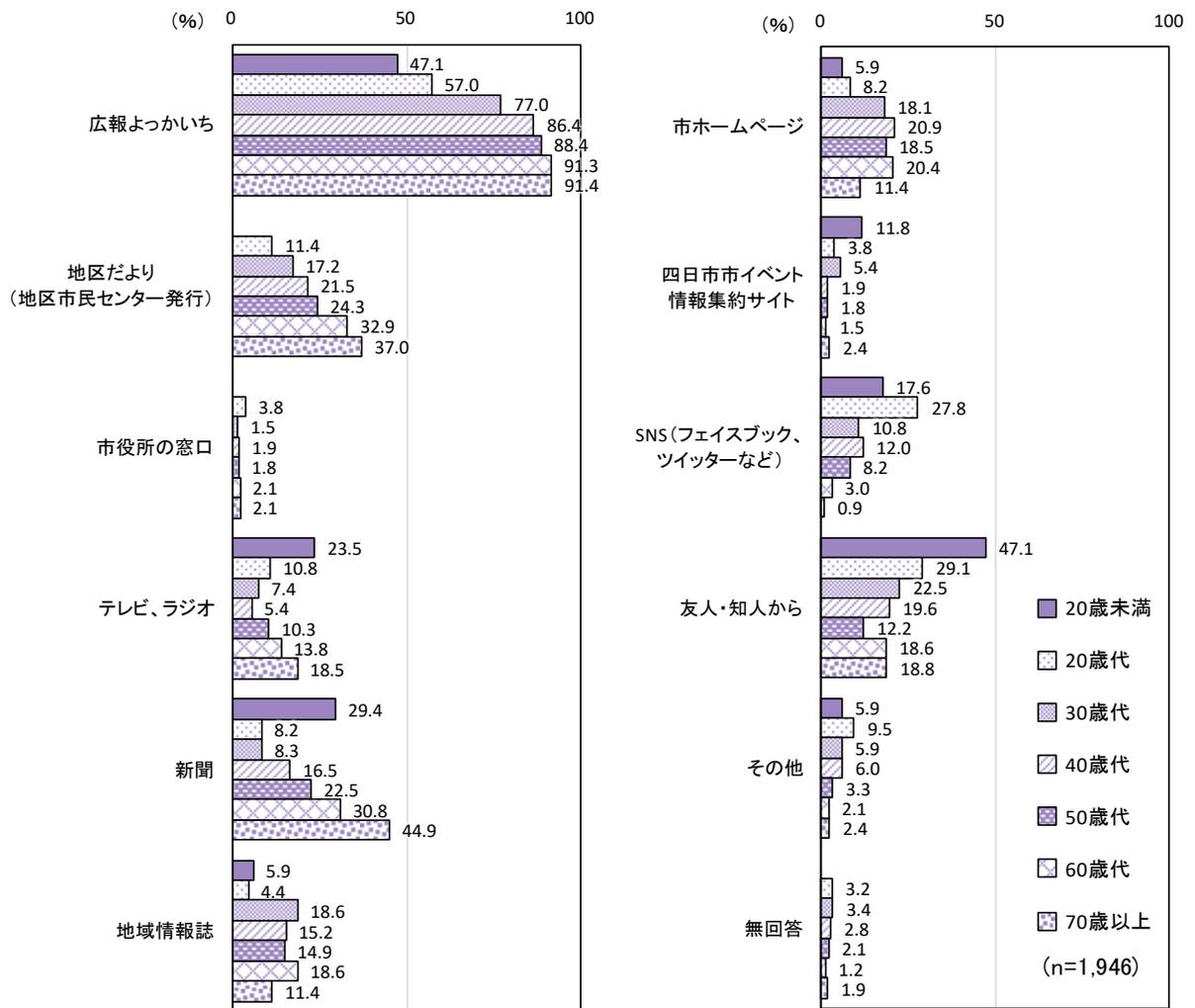
- 市が開催するイベントなどの行政情報をどのように入手しているか聞いたところ、「広報よっかいち」が85.3%で最も高く、次いで「地区だより（地区市民センター発行）」が27.1%、「新聞」が26.9%となっています。
- 過年度調査と比較すると、「SNS（フェイスブック、ツイッターなど）」でわずかに増加傾向となっています。「地域情報誌」では、第46回調査以降減少傾向となり、本調査では最も低く13.9%となっています。

- 「友人・知人」は男性よりも女性が高い
- 「テレビ・ラジオ」を除くすべての項目で男性よりも女性の割合が高い



- 性別にみると、「広報よっかいち」と回答した人の割合は性別問わず8割を超え高くなっています。
- 性別で差が大きかった項目は「友人・知人」で男性よりも女性の方が8.2ポイント高くなっています。

- 「広報よっかいち」を見る割合は20歳以上で5割を超え、40歳代以上では8割超
- 「友人・知人から」は20歳未満で5割弱と割合が高い



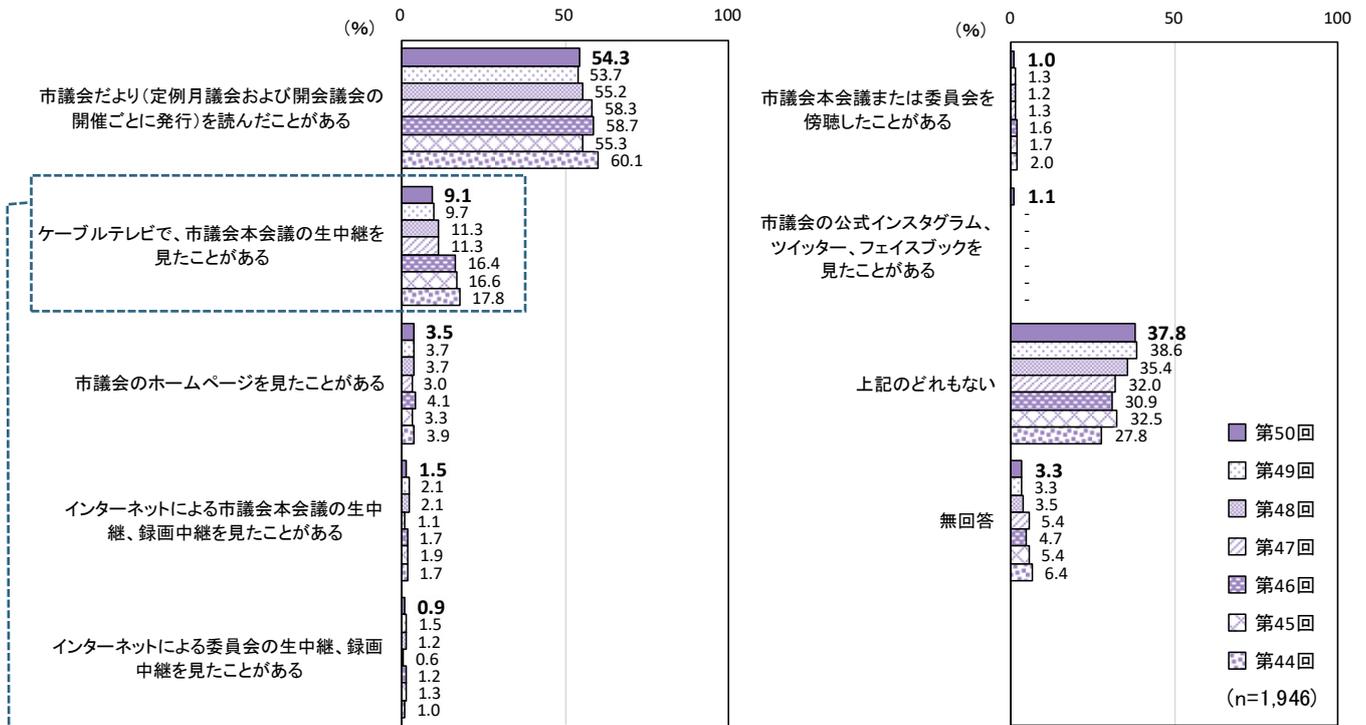
- 年齢別にみると、「広報よっかいち」と回答した人の割合はすべての年代で最も高いものの、40歳代以上では8割を超え高くなっています。一方、20歳未満では5割を下回り低くなっています。
- 年齢で差が大きかった項目は「広報よっかいち」で、70歳以上で91.4%と最も高く、20歳未満で47.1%と最も低くなっています。次いで「新聞」(最大70歳以上44.9%、最小20歳代8.2%)、「友人・知人から」(最大20歳未満47.1%、最小50歳代12.2%)などとなっています。

(5) 市議会について

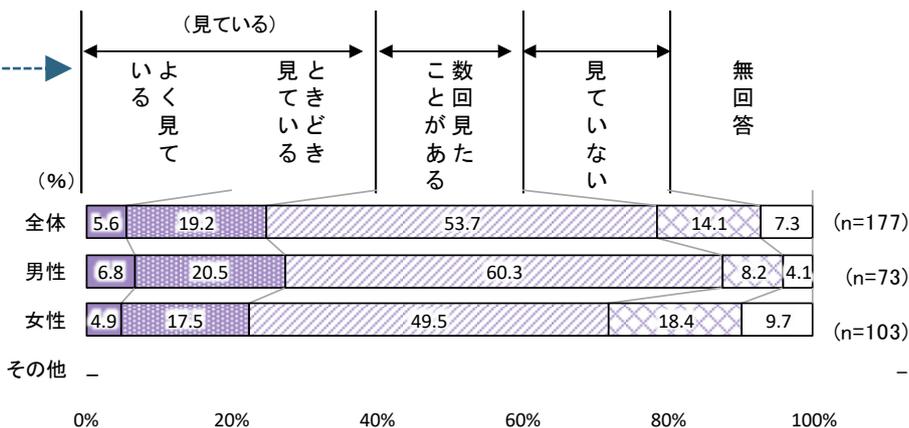
問7. 市議会では、いろいろな方法で議会の活動を皆さんにお知らせするように努めていますが、次の中から当てはまるものすべて選んで番号に○をつけてください。

問7-1. この1年間でどのくらい生中継を見たことがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

「市議会だよりを読んだことがある」人が54.3%

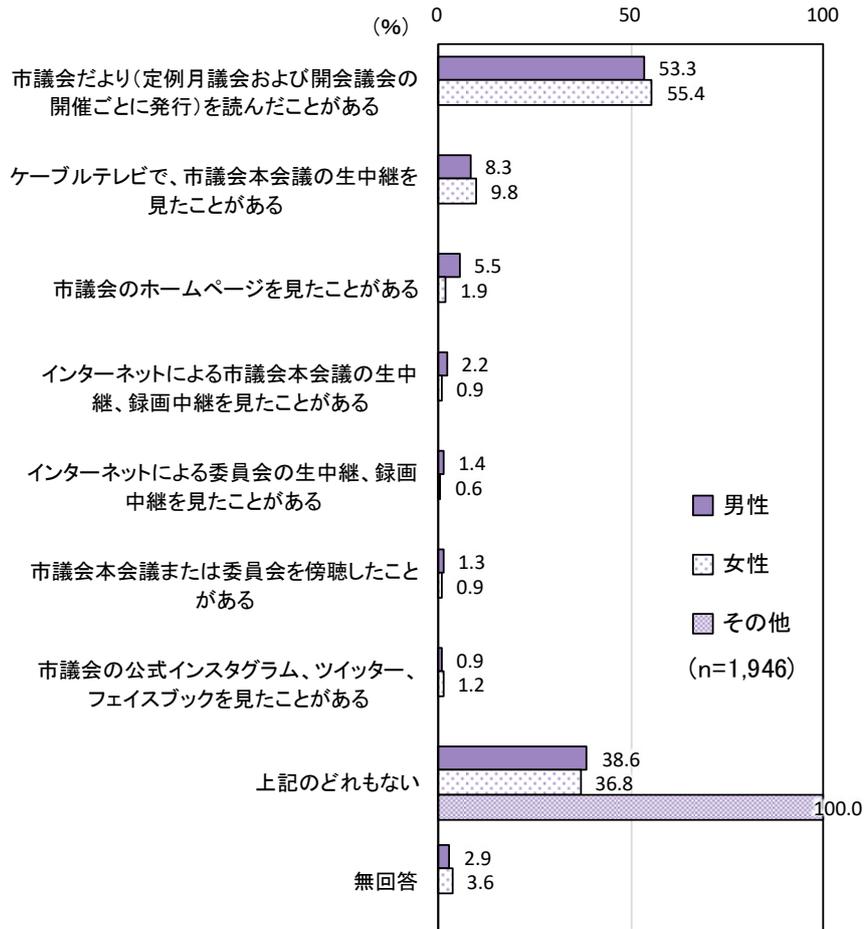


【見たことがある人に対して (問7-1)】



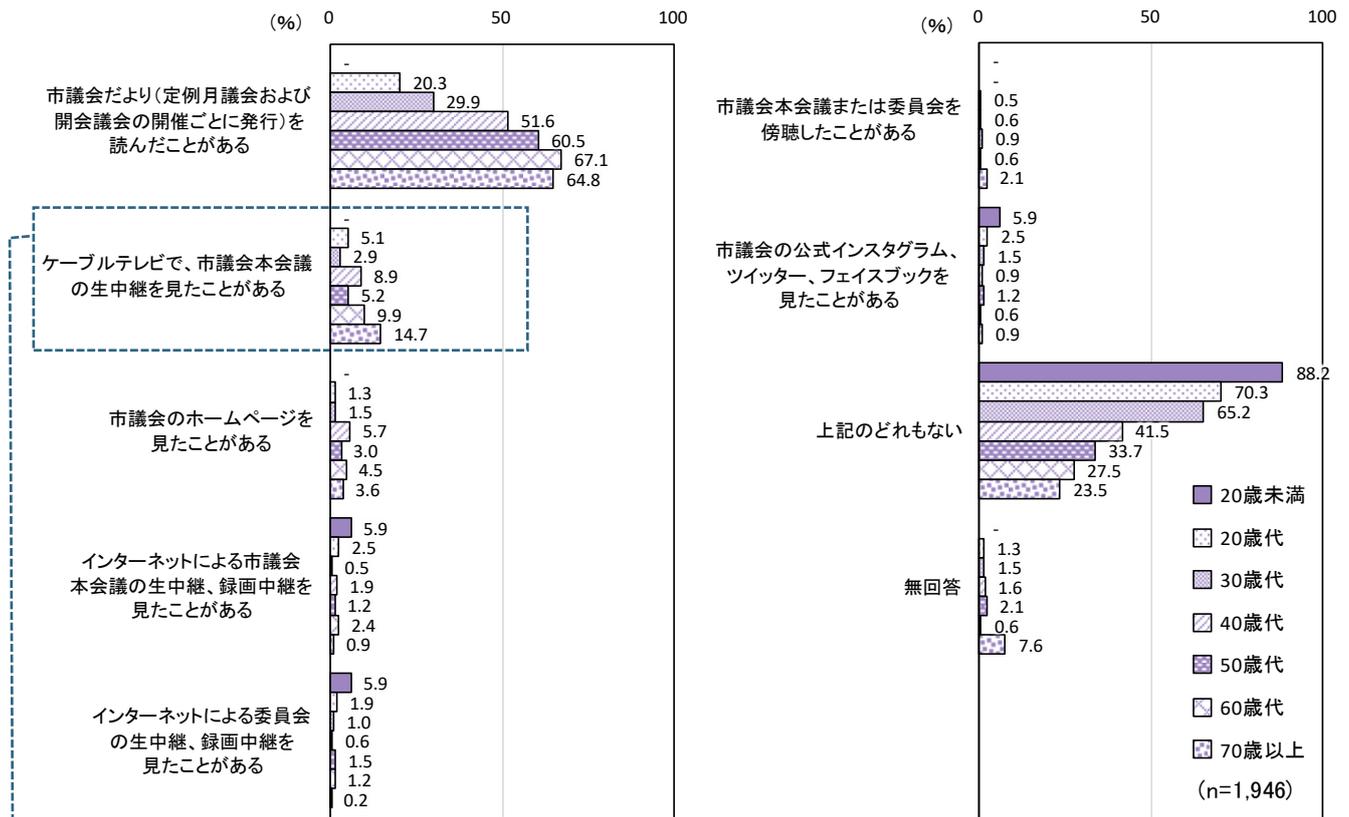
- 「市議会だよりを読んだことがある」人が54.3%と最も高く、次いで「上記のどれもなし」が37.8%となっています。
- 過年度調査と比較すると「ケーブルテレビで、市議会本会議の生中継を見たことがある」は9.1%で、第44回以降減少傾向が続いています。
- 「ケーブルテレビで、市議会本会議の生中継を見たことがある」に対して、この1年間でどのくらいの頻度を見たのかを聞いたところ、年間で「数回見たことがある」より多く見たことがある人は8割弱となっています。

➤ 「市議会のホームページを見たことがある」は男性の方が多い

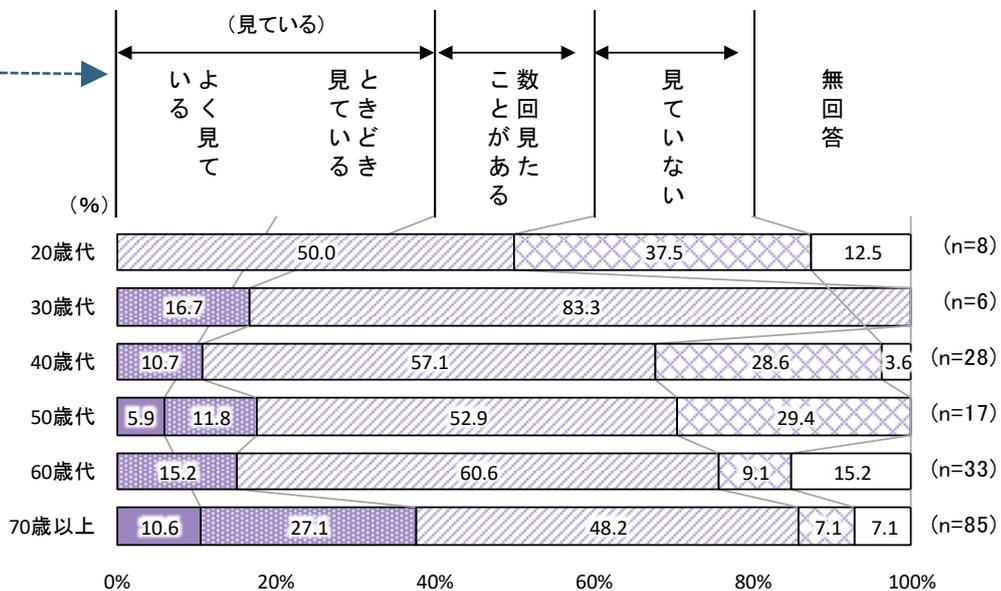


- 性別にみると、性別による大きな差はみられません。最も差が大きかった項目は「市議会のホームページを見たことがある」で女性よりも男性が3.6ポイント高くなっています。

➤ 「見たり聴いたりしたことがない」人は年齢が低いほど多く、20歳代では約9割



【見たことがある人に対して (問 7-1)】

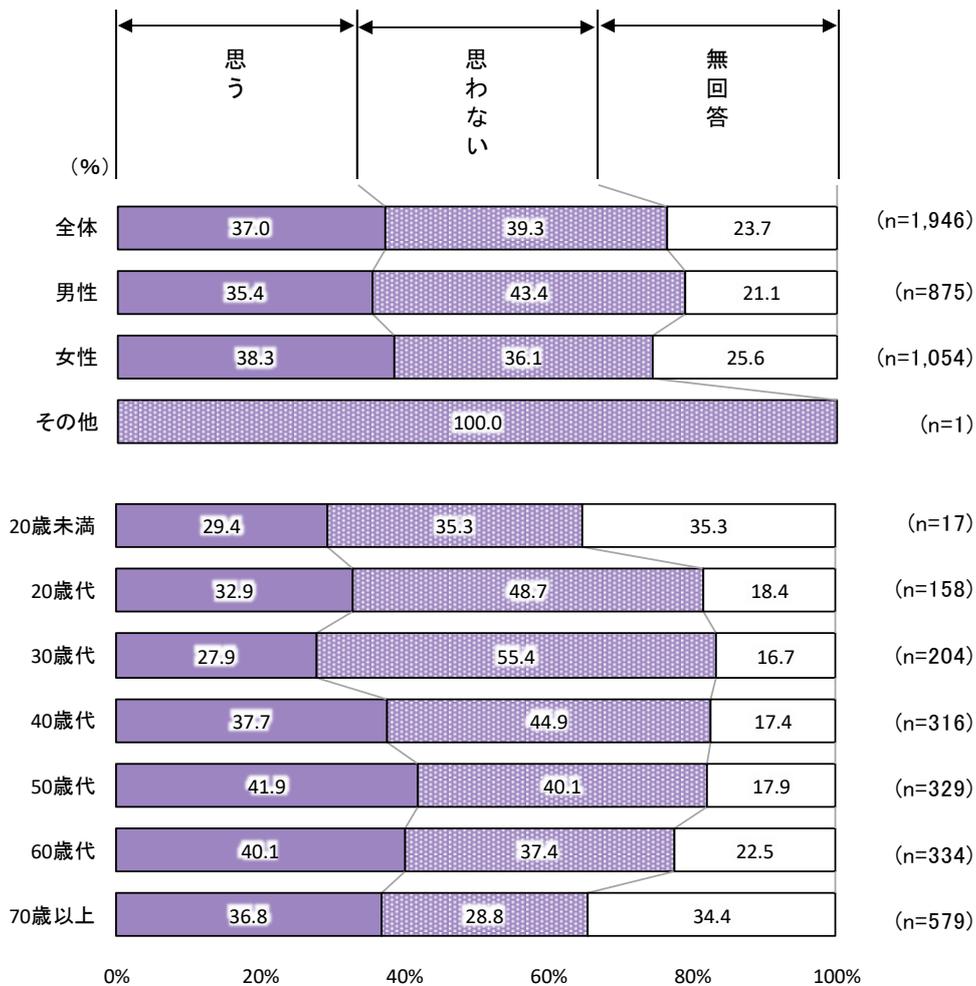


※20歳未満の回答者がいないためグラフは省略しています。

- 年齢別にみると、「市議会だよりを読んだことがある」人の割合は、20歳代で20.3%、60歳代で67.1%と概ね年齢が高くなるにつれて割合が高くなっています。
- 「上記のどれもなし (見たり聴いたりしたことがない)」人の割合は、年齢が低いほど高く、20歳未満では9割弱となっています。
- 「ケーブルテレビで、市議会本会議の生中継を見たことがある」に対して、生中継を「見ている (よく見ている) + 「ときどき見ている)」人の割合は、70歳以上で37.7%と最も高くなっています。

問8. 市議会では「問7」にあるように、「市議会だより」や「インターネット」等で活動内容を市民の皆さんにお伝えしていますが、分かりやすいと思いますか。
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 「(分かりやすいと) 思わない」人が4割
- 「思わない」と感じている割合は、女性よりも男性が高い
- 「思わない」と感じている割合は、30歳代で5割超



- 「市議会だより」や「インターネット」等での活動報告について分かりやすいと思うかを聞いたところ、「(分かりやすいと) 思う」と回答した人の割合は37.0%、「(分かりやすいと) 思わない」と回答した人の割合は39.3%となり、「思わない」人の方がわずかに多くなっています。
- 性別にみると、「思わない」と回答した人割合は、男性43.4%、女性36.1%で男性の方が7.3ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、50歳代以上では「思う」の割合が「思わない」の割合よりも高くなっています。また、「思わない」では30歳代55.4%、70歳以上28.8%で最も差が大きくなっています。

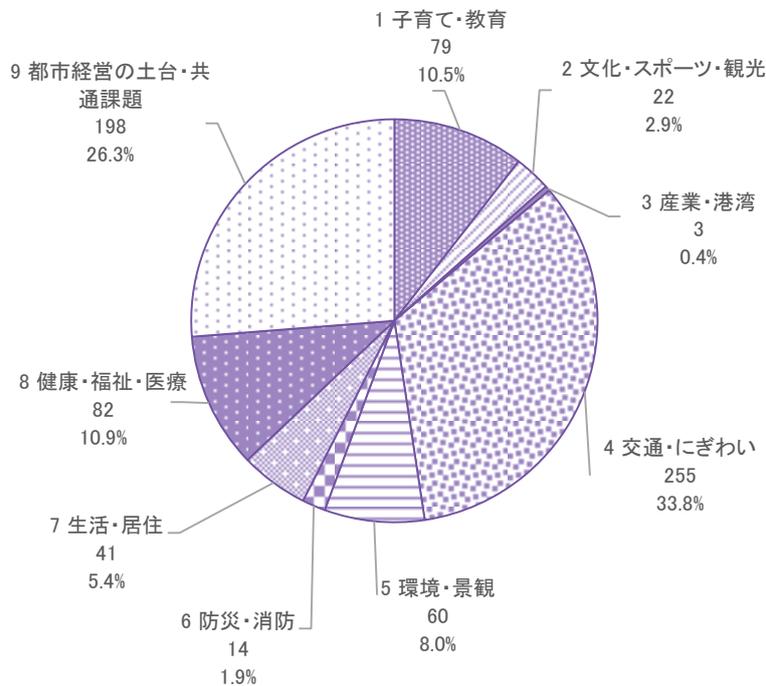
3 自由意見

市政に対する意見や要望を自由に書いていただく自由回答欄を設け、回答者 1,946 人から合計 754 件のご意見をいただきました。

市政に対する意見や要望などのご意見を、『分野別基本政策』（※四日市市総合計画（2020～2029）より）の計 9 項目で整理すると、「道路について」や「中心市街地の活用化について」の『4 交通・にぎわい』が 33.8%で最も多く、次いで『9 都市経営の土台・共通課題』（26.3%）についての意見が多くなっています。

施策項目別にみると、「(13) 道路について」が 105 件で最も多く、次いで「(16) 中心市街地の活用について」、「(14) 交通施策・公共交通機関」、「(1) 子育て支援について」、「(51) その他」のご意見が多くなっています。

— 市政に対するご意見やご要望などの内訳 —



※ 1 件の意見の中に複数の施策項目に関する内容が含まれる場合は、それぞれの項目で集計しています。

— ご意見やご要望などの数が多かった施策項目（上位 10 位） —

順位	施策項目	意見数	順位	施策項目	意見数
1 位	(13)道路について	105	6 位	(38)医療について	43
2 位	(16)中心市街地の活用化について	85	7 位	(2)教育について	34
3 位	(14)交通施策・公共交通機関について	54	7 位	(44)広報について	34
4 位	(1)子育て支援について	45	9 位	(18)ごみなど生活環境について	33
4 位	(51)その他	45	9 位	(50)市政全般への意見・要望	33

※ 施策項目にある（ ）付数値は、自由意見を各分野でまとめ 51 分類した番号です。